

**YAMAHA ELECTONE®**

**CSY-1**

**CSY**

お手許にお届けしましたCSY-1  
は、新しいサウンドを生み出すソ  
ロ・シンセサイザーを内蔵した、自  
動伴奏機能(オートベース/コード)  
付の易しく、楽しく弾けるエレク  
トーンです。

どうぞ末長く、ご愛用ください。

## ヤマハ・エレクトーンCSY-1の手引

### 目次

セクション	1. エレクトーンに新しいサウンドが加わりました	1
	2. エレクトーンの音が生まれるまで	5
	3. 先ず音を出して見ましょう	6
	4. トーンレバーが持つ素晴らしい音の世界	7
	5. 音のうるおいを生み出す効果音	9
	6. オートリズムのすばらしい効果	10
	7. 伴奏リズムの自動化によって演奏が更に楽しくなりました	12
	8. こんな場合は故障ではありません	18
	9. やさしい音楽教室	21
	10. 完全な保障とサービス	22
	11. 美しい音色は入念なお手入れから	24
	12. エレクトーンはまわりのことを考えて	25
	エレクトーンをより理解していただくために	26

オートリズムセクション

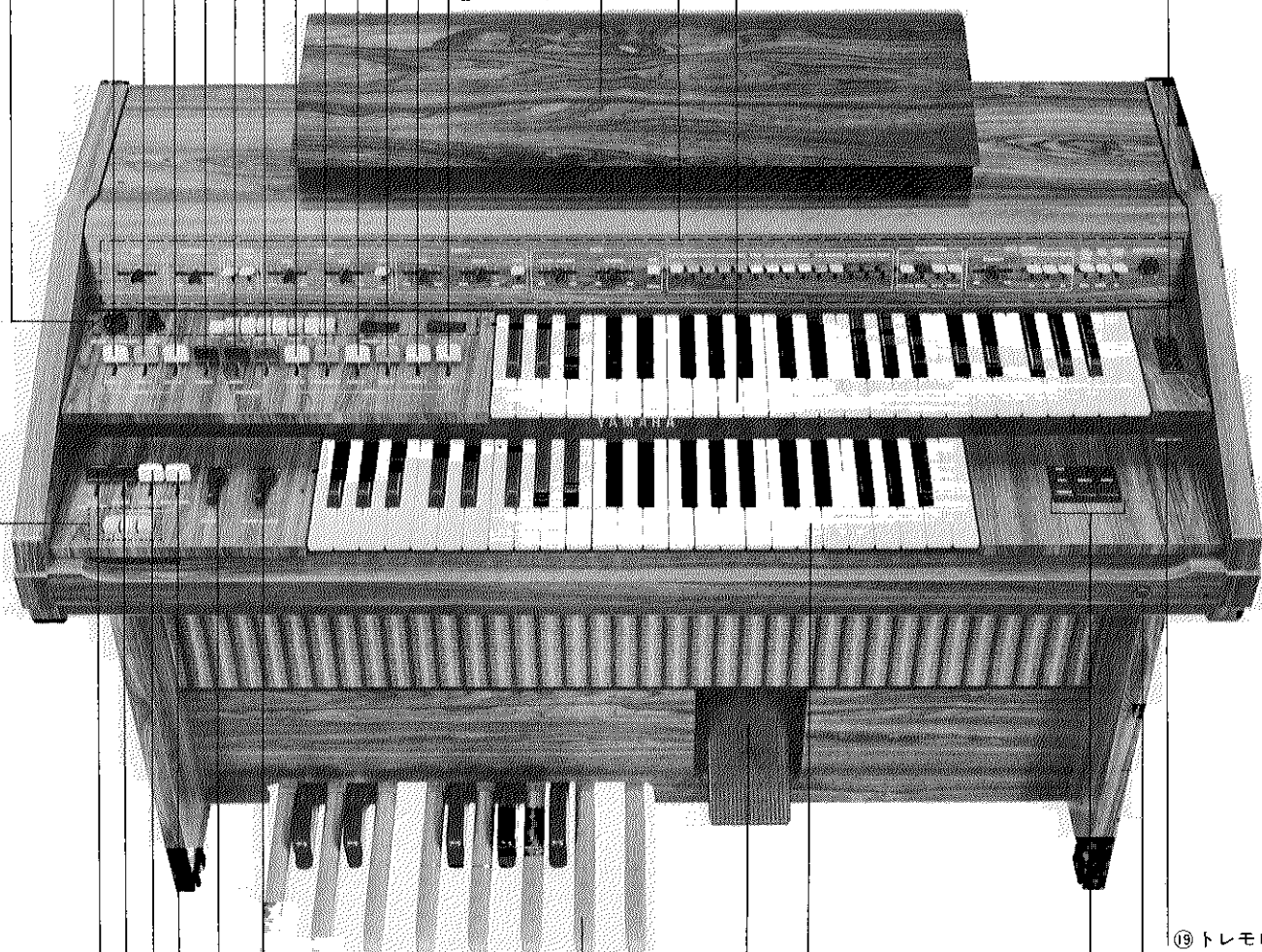
- ⑦ ウッド 8'
- ⑧ ホルン 8'
- ⑨ チェロ 8'
- ⑫ ビブラート
- ⑬ パッカーシブレングス
- ⑭ パッカーシブ 4'
- ① フルート 16'
- ② トロンボーン 16'
- ③ フルート 8'
- ④ オーボエ 8'
- ⑤ ストリング 8'
- ⑥ フルート 4'

譜面台

シンセサイザーセクション

⑬ 上鍵盤

⑲ パワースイッチ



- ⑰ リバーブバランス
- ⑱ リバーブ
- ⑪ ベースギター
- ⑩ バス 16'
- ⑮ ペダルサスティン
- ⑳ オートベース/コードレバー

⑲ ベダル鍵盤

- ⑭ 下鍵盤
- ⑮ エクスプレッションペダル

⑲ トレモロ・スピード  
パイロットランプ

⑱ トレモロ・セクターズ

⑲ ベース・バリエーション・セクターズ

# あらたな音楽の息吹きが甦えります。

ヤマハは常に、“生き生き”と“ゆたかな”サウンド創りを目指しています。このCSY-1は——生きた音——更に、それを自由に变化させる機能をもっています。このように一層巾の広い音楽の世界を切り拓くことができるシンセサイザー機能が新たに加わりました。

このCSY-1のシンセサイザー部では、シンセサイザーにありがちな操作の複雑さを解消するために、まず素材となる音色はすべてプリセット化しました。そのプリセット音色に対して、音色、音程、音量を自由に变化させ、独創的なサウンドを生み出すシステム、CSY-1のシンセサイザー部に内蔵されています。

## シンセサイザーとは？

シンセサイザーとは、音を創り出す発振器(OSCILLATOR)、音色を決めるフィルター(FILTER)、音を増幅するアンプリファイヤー(AMPLIFIER)を電圧によってコントロールするシステムをいいます。

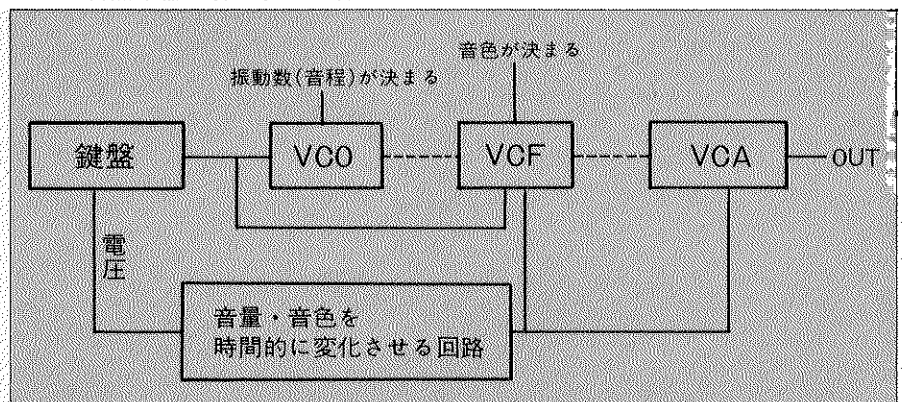
このようなシステムから、音色を時間的にコントロールすること、音の立ち上り、減衰をコントロールすること、音程を自由に变化させること——が、できるようになりました。

私たちがいつも何気なく耳にしている、トランペットとか、バイオリンといった自然楽器の音は、その音の立ち

上り、持続・減衰といった過程では、音色・音程・音量が微妙に変化しています。この時間的な変化が種々の楽器によって異なっていて、楽器の音の性格を形作る大きな役割を果たしています。従って、このシステムによれば、自然楽器に近い音が得られると同時に——全く新しい楽音——まで自由に創り出すことができるということになります。

このシンセサイザーの原理を簡単に説明しますと、電圧でコントロールされた発振器をVCO(VOLTAGE CONTROLLED OSCILLATOR)、フィルターをVCF(VOLTAGE CONTROLLED FILTER)、増幅器をVCA(VOLTAGE CONTROLLED AMPLIFIER)と呼び、これらは下図のように構成されています。

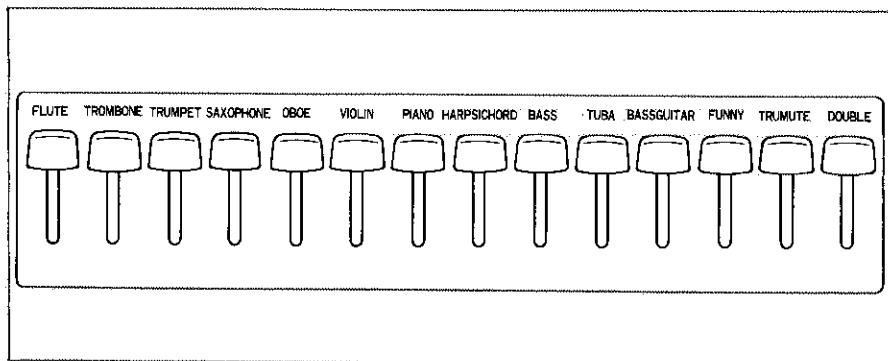
例えば、キーを押すと、決められた電圧が発生して、VCOに働きかけ音程が決まります。VCOを通った信号はVCFに入り、音色が決定されますが、更に別の回路(エンベロープ・ジェネレーター)からくる信号によって、時間的な音色変化も同時に加えられます。最後に、VCAによって、増幅され、同時に立ち上りの早さ、減衰の程度、サステインの長さなどが決められ、音が出てきます。このようにして創られた音は、“自然で生き生きとした感じ”が、聴く人の耳に伝わってきます。



# SECTION



エレクトーンに新しいサウンドが加わりました



## プリセット音色

演奏途中に、コントロール部や、タブレット部を操作しながら、音を創り変えることは、大変困難なことです。CSY-1は、シンセサイザーのこの困難さを解消するために、比較的ポピュラーな楽器音12種と、新しい音色2種を加え、プリセット音色としてセットしました。この楽器音は、ワンタッチでセレクトできます。このプリセット音色は、右側優先になっていますので、2つ以上の音色レバーを入れても右側の音色しかできません。なおこのプリセット音色には、図でわかるように、既に或るエフェクトのセットされているものがあります。

このあらかじめセットされている音程・音色・音量はキャンセルして、他のレバー操作によって、自由にコントロールすることができます。(エフェクトの項参照)

## プリセット音色スイッチ

14のプリセット音色が内蔵され、さらに“生き生き”と巾の広いエレクトーン演奏を可能にしました。このプリセット音色は、2つ以上のレバーを同時に押した場合、押されているレバーの右側の音色が出るようになっています。すべてのレバーが押されていない状態では、音はでませんのでご注意ください。

## トラミュート

トランペットにミュートをかけた感じの音です。

## ファニー

シンセサイザー独特の音で、時間的に音色の変化したものです。

## リード

シンセサイザー的な音です。実際によく聞きあわせて、お使いください。

## プリセット音色群・付加エフェクト

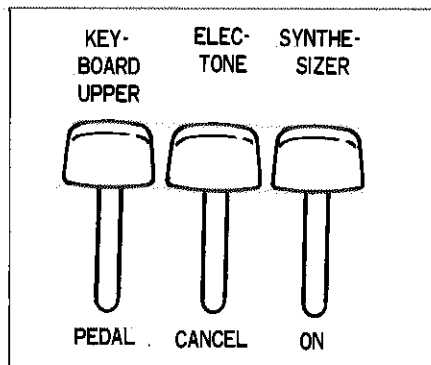
プリセット音色	ビブラート●グロール●ビート●	サステイン効果	基本となる音程
フルート	●		8'
トロンボーン	●		16'
トランペット	●		8'
サキソホーン	●		16'
オーボエ	●		8'
バイオリン	●		8'
ピアノ		●	16'
ハープシコード		▲(パーカッション)	8'
バス	●		16'
チューバ	●		16'
ベースギター		●	16'
ファニー		●	16'
トラミュート	●		16'
ダブル	●		8'

シンセサイザーとのアンサンブル効果が新しいサウンドを生み出します。

シンセサイザーの音は、上鍵盤、ペダル鍵盤で得られます。シンセサイザー部は、単音(高音優先)ですが、上鍵盤、ベース鍵盤では、エレクトーンの音と重ねることができますから、サウンドが生き生きとしてきます。

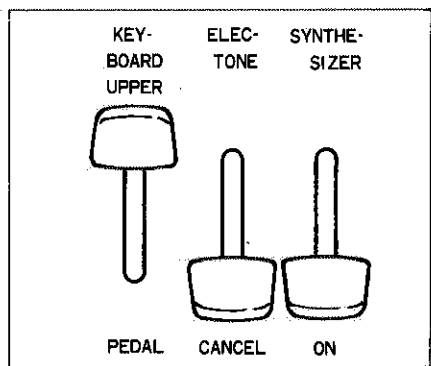
シンセサイザーボリュームの左側にあるキーボード(KEYBOARD)、エレクトーン(ELECTONE)、シンセサイザー(SYNTHESIZER)の3つのレバーによって、シンセサイザーとエレクトーンの組合せを調整します。

A: シンセサイザーを使わないで、普通のエレクトーンとして演奏する場合には、

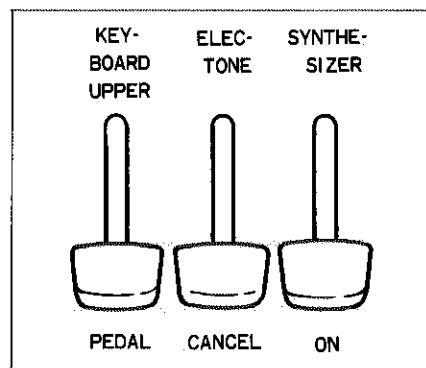


図のように、シンセサイザーのレバーが、OFF側にセットしてあれば、他の2つのレバーが、どの位置にセットされていてもシンセサイザーは働きません。

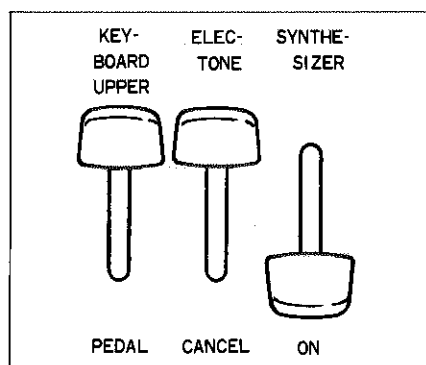
B: 上鍵盤で、シンセサイザーの音だけが欲しい場合には、図のようにセットしてください。



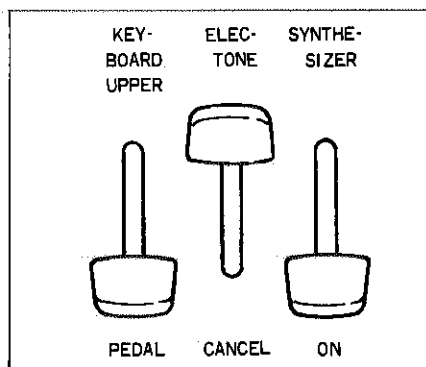
C: ペダル鍵盤で、シンセサイザーの音だけが欲しい場合には、図のようにセットしてください。



D: 上鍵盤で、シンセサイザーの音とエレクトーンの音が同時に欲しい場合には、図のようにセットしてください。



E: ペダル鍵盤で、シンセサイザーの音と、ベース音が、同時に欲しい場合には、図のようにセットしてください。



## コントロール機能

シンセサイザーのプリセット音色は、音の三要素である音程、音色、音量を時間的に変化させることによって、自然楽器に近いより生きた音を、更にはまたまったく新しい楽音をも再現してくれます。

更に次に述べるいろいろなコントロールレバーの操作によって、プリセットされた音の立ち上り、減衰を演奏者の好みに応じてセットし直したり、倍音の含まれ方の程度によって、音色を変化させたり、音程を連続的にスライドさせたり……など、さまざまな変化を加えることができます。

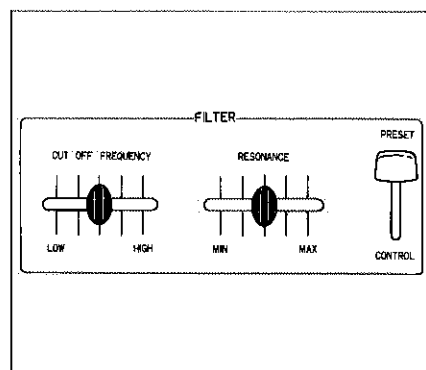
## フィルター(FILTER)

フィルターは、倍音の含まれ方をコントロールして、音色に変化を与えます。

プリセットされている各楽音は、音色を決める要素である CUT OFF FREQUENCYや、レゾナンスのかかり具合が既にその楽音に合うように決められ、セットされています。

プリセット音色を更に変化させたい場合には、次のようにしてください。

フィルターレバーをコントロール側にセットします。すると既にプリセット音色にセットされていたCUT OFF FREQUENCYとレゾナンスがキャンセルされ、それぞれのスライドボリュームを操作することによって、演奏者の好きな音色に変化させることができます。



CUT OFF FREQUENCYレバーをLOW側にセットすれば、高い倍音はカットされ、明るくあざやかな音色が、暗く沈んだ音色へと変化します。レゾナンスレバーをMAX側にスライドさせれば、CUT OFF FREQUENCYは、強調され、よりこもった音色になります。

レゾナンスレバーを、中央にセットし、CUT OFF FREQUENCYレバーを前後に繰り返しスライドさせれば、ワウワウ効果を得ることもできます。

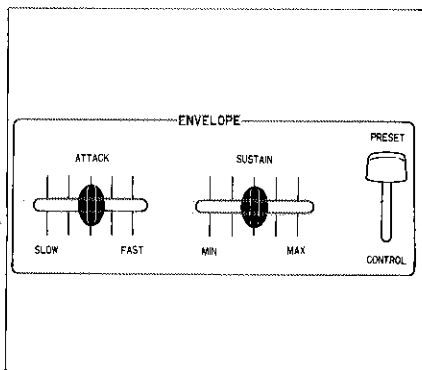
さまざまに応用して、巾の広い演奏効果の得られるレバーです。

### エンベロープ(ENVELOPE)

エンベロープは、音の立ち上り、減衰をコントロールします。

それぞれのプリセット音色は、あらかじめ立ち上りの時間、減衰時間がセットされています。

これを変化させたい場合には、エンベロープレバーをコントロール側にします。するとプリセットされていた音の立ち上り時間、減衰時間がキャンセルされ、自由に音の立ち上り、減衰時間を変化させることができます。



音の立ち上りは、アタックレバーで、音に余韻をつけたい場合は、サステインレバーで各々コントロールします。

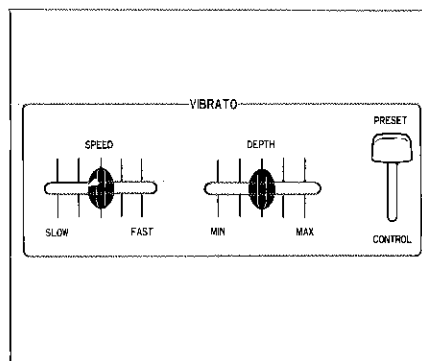
アタックレバーをFAST側一杯に、SUSTAINレバーをSHORT側一杯にセットすれば、音の立ち上り、減衰が非常に早く、輪郭がはっきりし、叩くようなパンチのきいた音になり、LONG側にセットすれば、音が遅く立ち上り、ソフトでムーディな感じに変化します。

### ビブラート(VIBRATO)

ビブラートは、音に震えをつけます。フルート・チューバなどの音色には、既にビブラートや、グロールがかかっています。

グロールは、ビブラートの震えを速くした状態の効果です。

ビブラートレバーをCONTROL側にすれば、それぞれの音色にかかっていたビブラートや、グロールは一旦キャンセルされ、各々のレバーによって、再び好きな度合でビブラートの速さ、深さをコントロールできます。



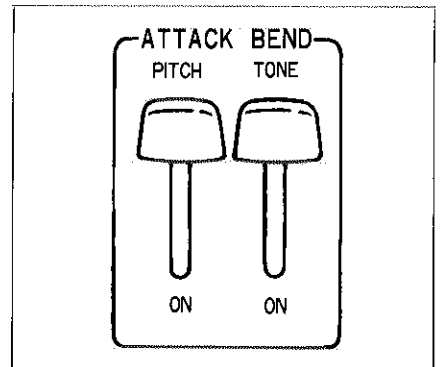
ファニーのようにワウワウのかかっている音色では、ビブラートレバーをCONTROL側にし、ビブラートスピードレバーを動かせば、ワウワウのスピードも同時に変化します。またビブラートデプスレバーを最小にセットし、ビブラートスピードレバーを動かすと、ビブラートはかからず、ワウワウのスピードのみをコントロールすることができます。

### アタックベンド(ATTACK BEND)

アタックベンドには、音の立ち上り時のピッチをコントロールするピッチベンド(PITCH BEND)と音色を変化させるトーンベンド(TONE BEND)があります。

ピッチベンドは、キーを押した瞬間に音程が下がり、序々に正しい音程へと復帰し、トーンベンドは、キーを押した瞬間に音色が変化し、序々に正常な音色へと復帰する効果をいいます。

PITCHまたは、TONEのレバーを押せ



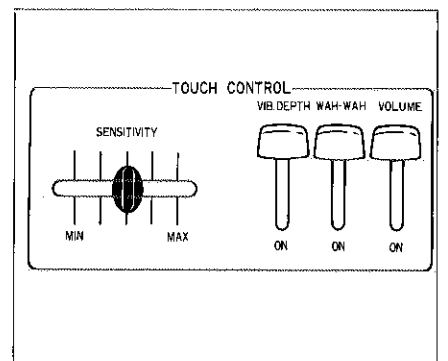
ば、それぞれ独立して効果がかかります。

※この効果は、上鍵盤のみに効果があります。

### タッチコントロール

#### (TOUCH CONTROL)

キーを押す力の変化に応じて、ビブラートのかかる深さを変えたり、ワウワウ(WAH-WAH)を加えたり、音量を変化させて、さらに巾ひろい音楽表現を可能にするタッチコントロールが内蔵されています。シンセサイザーパネル右側にタッチコントロール用のビブラートデプス(VIBRATO DEPTH)、ワウワウ(WAH-WAH)、ボリューム(VOLUME)の3つのレバー、このレバーの左に効果の最大量をコントロールするセンシティビティ(SENSITIVITY)レバーがあります。



ビブラートデプスレバーをONにした場合、すでにプリセット音色にかかっているビブラートが、わからないほど少なくなり、それはキーを軽く押した状態でも変わりません。キーを強く押

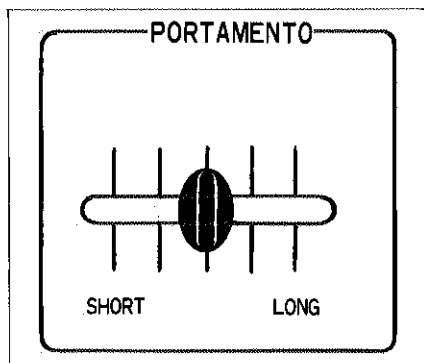
せば、深いビブラートがかかり、まろやかな音色になります。

これらの効果は、併用することができます。例えば、ビブラートデプスとボリュームのレバーをONにすれば、キーを押す度合によって、ビブラートのかかる深さと音量を同時に変化させることができます。

これらのタッチコントロールは、すべてのプリセット音色に効果がありますが、このタッチコントロールは、シンセサイザーを上鍵盤で使用しているときにのみ、効果がありますので、充分ご注意ください。

#### ポルタメント(PORTAMENTO)

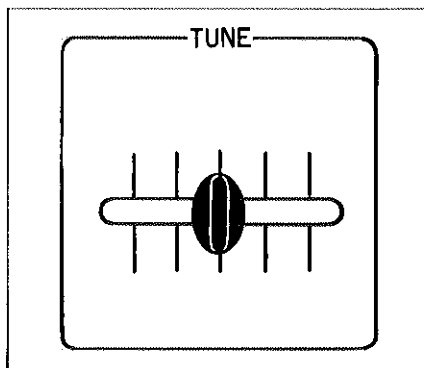
ポルタメントとは、先に押したキーの音から、次に押したキーへ、音程が連続的に変化する効果です。ポルタメントレバーが、SHORT側にセットされている場合には、Cのキーを押し、次にAのキーを押せば、C音が出て、次にA音が出るだけです。しかし、ポ



ルタメントレバーをLONG側にセットし、同様に、Cのキーを押し、次にAのキーを押せば、C音からA音に至るまで連続して音程が変化します。これは、AからCへ音程が上昇する場合も、下降する場合も同様の効果が得られます。この変化時間の速さはポルタメントレバーによってコントロールします。

#### チューニング(TUNING)

電源スイッチをONにし、シンセサイザーパネルの一番左側にあるTUNEツマミで、シンセサイザーのピッチをエレクトーンのピッチに合せます。この場合、シンセサイザーのプリセット音色は、フルートを使い、ビブラートレバーをコントロール側にし、ビブラ



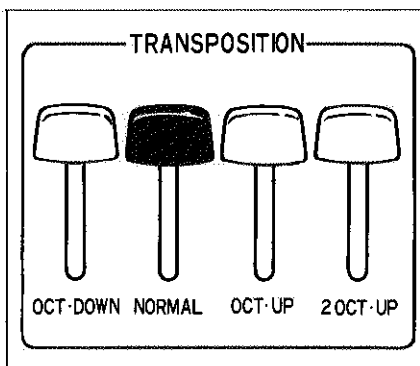
ートデプスレバーをMIN側にセットして、ビブラートのかからない状態で行ってください。

※電源スイッチを入れて、しばらくしてからチューニングをしてください。

#### トランスポジション (TRANSPPOSITION)

トランス・ポジション—このスイッチによって、プリセット音色の音程(オクターブ)を変えることができます。上に2オクターブ、下にオクターブの可変範囲があります。

(このレバーを同時に2つ以上押した場合には、右側のレバーが生き、全部のレバーを下げない状態では、NORMALの音程(オクターブ)となります。)

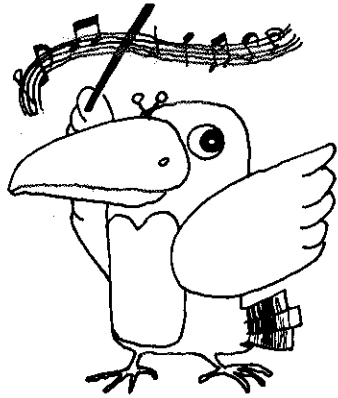




# SECTION 2

## エレクトーン之音が生まれるまで

音は空気の振動から ● 音源回路



私たちが耳にする音は、物体の振動が周辺の空気に作用を及ぼして発生したものです。例えば、虫の鳴き声は二枚の羽根をすり合わせて微妙な空気の振動を起し音声を発していることからわかります。

エレクトーン之音も、まず電気の振動をつくり出すことから始まります。この電気の振動がエレクトーン之音の源となり、これを音源回路と呼びます。

普通、私たちの耳で聞き分けられる音は16ヘルツから20,000ヘルツまでといわれます。音楽で使用されるのは、そのうちの30ヘルツから4,000ヘルツぐらいまでに集中しています。

ドレミを選ぶ ● 開閉回路



ヘルツ(Hz)で表される電気の振動数を半分に割ると——たとえば4,000ヘルツを2,000ヘルツに——ちょうどオクターブの関係が生じます。

今、仮りに4,000ヘルツがドの音なら2,000ヘルツはそのオクターブ下のドになります。ですから最初に一番高い音を決めて次から次へと半分にしていけば正確なスケール(音階)ができあがります。

あとは電気振動を通したり通さなかったりする鍵盤と開閉回路を結んで目的の音を選ぶだけです。

音のカクテル ● 音色回路



エレクトーンは1台でいろいろな楽器の音を出すことができます。これはエレクトーンだけの特長です。

例えばフルートとクラリネットでは同じドの音でも随分違った感じを受けますが、これは楽器の音が基音と倍音で合成されているからです。ちょうど同じベース(基音)のカクテルでも加える材料(倍音)で味が違ってくるのに似ています。

音色回路は、その基音と倍音の関係を変えること一つつまり、いろいろな音のカクテルをつくる働きをします。

音を拡大する ● 増幅回路



音源回路で振動をつくり、開閉回路で取り出され、音色回路で味つけされたドレミは、ここまではまだわずかな電気振動にすぎず、このままではまだあなたの耳にとどきません。

増幅回路は、そのかすかな振動を拡大するところです。さあ、これで電気振動はエネルギーを与えられ、拡大され、スピーカーを高らかにド〜レ〜ミ〜とふるわせてエレクトーン独特の魅力的な音が生まれるのです。

# SECTION 3 先ず音を出してみよう

## ●電源を入れます

1. エレクトーンの背面にある電源コードをコンセントに接続します。
2. 上鍵盤の右端にあるパワースイッチを押してください。
3. パイロットランプが点灯して演奏準備が完了します。

## ●演奏の姿勢

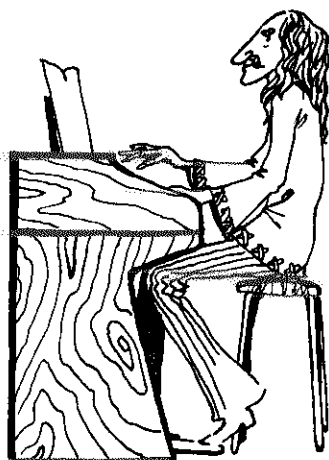
すべての楽器の演奏は基本の姿勢が大切です。最初によくマスターして、すばらしい演奏をお楽しみください。

1. エレクトーンを中心に座ります。  
椅子の前半分くらいの位置で楽な姿勢をとります。体の重心は少し右側により、左足が楽に動かせるようにしてください。
2. 主に右手は上鍵盤、左手は下鍵盤、左足はペダル鍵盤を演奏します。  
それぞれ鍵盤全音域にとどくように確かめてください。
3. 左足は力を入れずに下脚が左右に楽に動き、足首は力をぬき、つま先が黒鍵の手前を軽く押すように演奏します。
4. 右足はエクスプレッションペダルにのせます。足首の力をぬき足底全面をペダルに密着させます。そして、いっぱい踏み込んだときと上げたときの動作がすべて楽に動かなければいけません。

## ●音を出してみよう

エレクトーンは、電源を入れ鍵盤を押しただけでは音が出ません。トーンレバーをセットし、エクスプレッションペダルを踏んで始めて魅力的な音が聞こえるのです。

1. 上鍵盤のトーンレバーの中から、例えば一番右端の Flue 4' を手前に引いてセットし、右足でエクスプレッションペダルを踏み込み、右手で上鍵盤を押せば上鍵盤のフルートの音だけが出ます。  
この場合、下鍵盤、ペダル鍵盤を押しても音は出ません。  
また、エクスプレッションペダルを踏み込まない場合も音は出ません。
2. 上記の要領で下鍵盤のトーンレバー、ペダル鍵盤のトーンレバーをセットしてそれぞれの音を出してみよう。
3. 主に右手でメロディ(上鍵盤)、左手で伴奏(下鍵盤)、左足でベース(ペダル鍵盤)を演奏します。
4. トーンレバーは自由に組み合わせ、いくつもの音色が作りだせます。



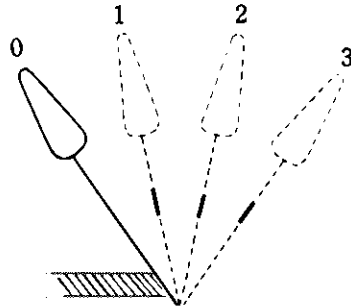
# SECTION 7

## トーンレバーが持つ素晴らしい音の世界

### トーンレバーが持つ素晴らしい音の世界

これはエレクトーンの音色をきめるレバーで各レバーの音色の音量を連続可変調整することができます。指先で手前に引くにつれ、音量は連続的にふえていきます。途中2カ所でちょっと手ごたえがありますが、これは解り易いようにクリックストップになっているためです。

レバーの位置は下図のように4段階(0.1.2.3.)に分かれています。



### ●上鍵盤のトーンレバー

#### ●フルート16'

やわらかで澄んだ音が出ます。他の音色とのハーモニーがきれいです。このフルート16のレバーを手前に引くと、1オクターブ下のフルートの音がかかります。

#### ●トロンボーン16'

金管楽器のトロンボーンに近い音色で、多少割れたような厚みのある金属的な音になります。

#### ●フルート8'

フルートの音色です。澄んだ落ち着いた音で、少し暗い感じがします。

#### ●オーボエ8'

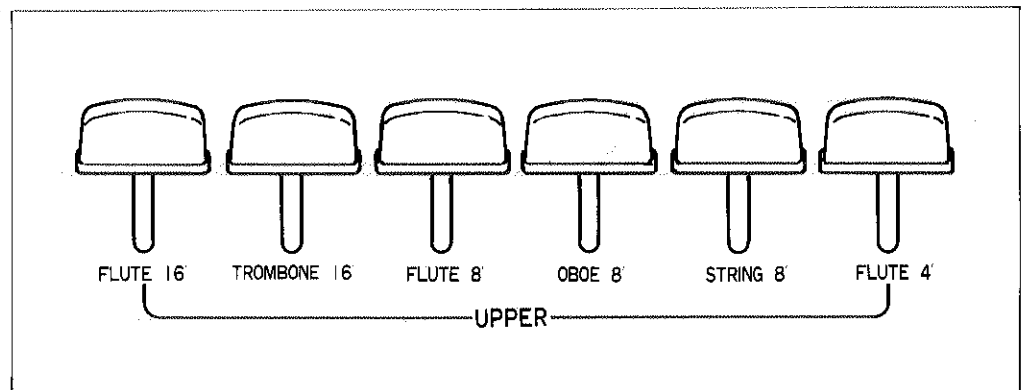
オーボエのようなダブルリードの楽器の音で、複雑な波形を持っています。これにより、演奏の味つけの効果が一段と増し、ストリング群などに加えると大変クリアな効果があらわれてきます。

#### ●ストリング8'

弦楽器の音が更に複雑で豊かな音色になります。

#### ●フルート4'

フルートのオクターブ上の音が出ます。これを加えると音は華やかさを増します。この音を単独で用いれば音域を1オクターブ広げる使い方ができます。



●カブラー効果

これはトーンレバーの一つの音と別の音を組み合わせる働きをします。

これによって一つのキーを押しただけで、いくつものキーを押した場合と同じ結果になります。

例えばフルート8'をいっぱい到下し、次にフルート16'を入れてみます。そうして演奏した場合一つのキーを押しただけでフルート8'の音と、その1オクターブ下のフルート16'の音の二重音が出ているというわけです。しかもレバーをどの程度下げることによって自由に音の強さを加減できますから、いくつもの音色が作り出せます。

●下鍵盤のトーンレバー

●ウッド8'

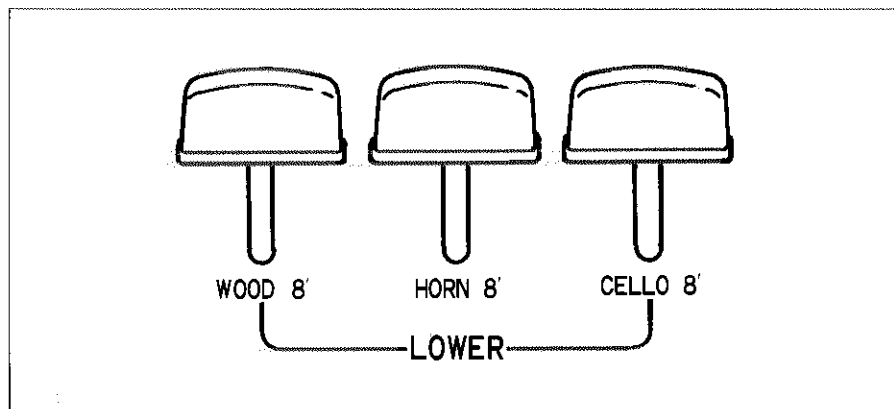
木管楽器の音色です。フルートと同じような単純な音ですが、いくらか明るい感じになっています。

●ホルン8'

クセのない豊かなホルンの音色が得られます。

●チェロ8'

やわらかく自然な、チェロのような音色です。



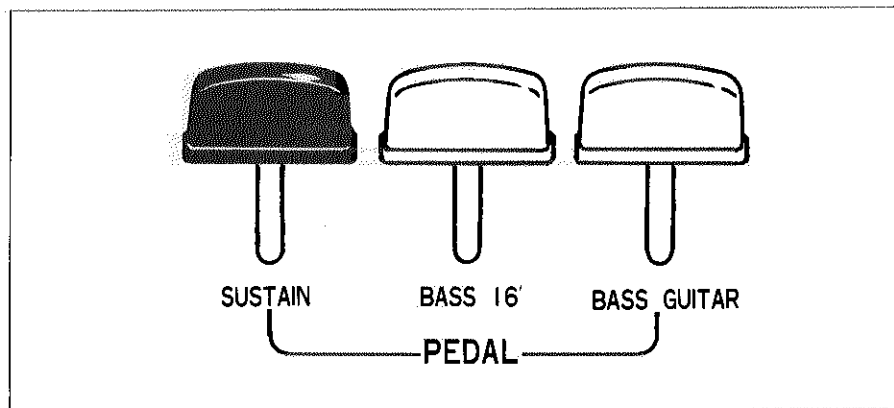
●ペダル鍵盤のトーンレバー

●バス16'

非常に低いバスの音域で使われるため、エレキトーン機の最低音部を受け持ちます。

●ベースギター

バス16'に比べ音程がはっきりしています。特に、あらかじめ特有のアタック効果が組み込まれていますのでバス16'の音色と組み合わせることにより、いっそう効果的な表現ができます。



# SECTION 5

## 音のうるおいを生みだす効果音

音のうるおいを生み出す効果音エフェクトレバーほか

エレクトーンの音に、いろいろな効果、例えば一定の周期で音量を変化させ、マンドリンに似た音を生んだり、曲想に応じて音色を暗い感じにしたり明るい感じにしたり……など。音色に潤いと変化を与え、音に一層の拡がりを持たせ演奏の巾を大きく広げる効果をエフェクトといいます。

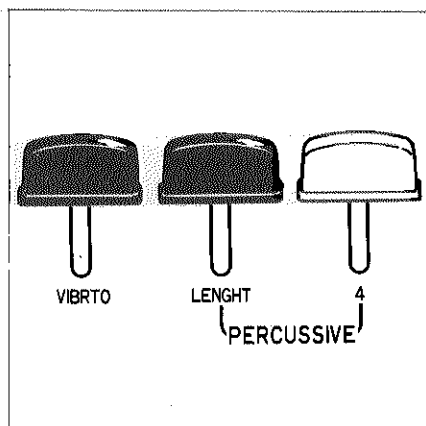
●エフェクトレバー

●ビブラート

ビブラートとは音の震える効果です。音がかすかに揺れて、きわめてデリケートな雰囲気をつくります。

このレバーを入れると音が生き生きと潤いを持ってきます。

レバーの深さの程度によっていろいろな感じが作り出せます。



●●アップパーパーカッション

コントロールパネルの緑色の4'及び黒色のレングス(LENGH)のレバーでこの効果が得られます。4'のレバーは普通のトーンレバーと同様にお使い頂き、LENGH レバーでは余韻の長さを変えることができます。歯切れのよい演奏をしたいときにお使いいただくわけですが鍵盤を押してそのままにしていないと余韻はつきません。

●ペダルサステイン

ペダルサステインをかけることにより、コントラバスのピチカート奏法の感じを出すことができます。

●コントロールレバー

●リバーブ

下鍵盤左側の2個のレバーのうち左側のレバーがリバーブです。

これを入れると大ホールで演奏しているような残響が得られます。

このレバーを左端にセットするとOFFになり、右にまわすにつれて残響が長くなります。

●リバーブバランス

上鍵盤と下鍵盤のリバーブのかかり具合のバランスをとるためのレバーです。右にまわすと上鍵盤のリバーブのかかりが大きくなり左にまわすと下鍵盤の方が大きくなります。

●タブレット

●トレモロセレクトアース

●ボイスタブレット

トレモロタブレットまたはコーラスタブレットを押した状態にしておいてメイン・トレモロに切換えてみてください。メインの側ではトレモロはかかりません。トレモロにして初めて効果があります。

●トレモロタブレット

ボイスタブレットをトレモロの状態にしておいて、このタブレットを入れますと小型ナチュラル・サウンド・スピーカーが回転して豊かなトレモロ効果のかかった演奏が楽しめます。

●コーラスタブレット

ボイスタブレットをトレモロの状態にして、このタブレットを入れますと小型ナチュラル・サウンド・スピーカーがゆっくりと回転して荘厳なコーラス効果のかかった演奏となります。とくにコーラスタブレットは宗教曲とかスローな演奏に効果的です。

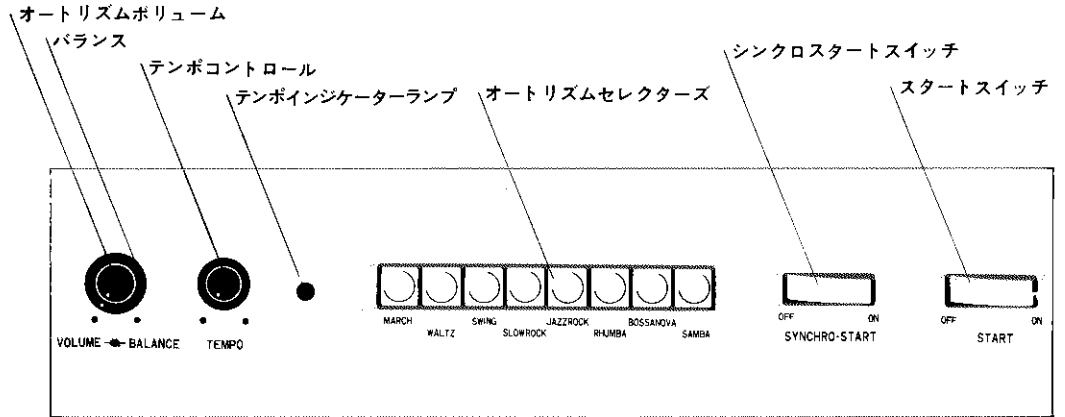
ただし、トレモロタブレットとコーラスタブレットが両方入った状態では、トレモロタブレットの効果が優先します。

●トレモロスピード

トレモロ効果を掛けた時に得られる音が回転するような感じを速くしたりゆっくりしたり自由にコントロールできるものです。

# SECTION 6

## オートリズムのすばらしい効果



### オートリズムのすばらしい効果

#### ■オートリズム各部の使い方

##### ●リズムセレクター

8つのリズムがあります。お好きなリズムのボタンを押してください。2つ以上のリズムを同時に鳴らす場合はボタンを必要な数(3個くらいが限度)だけ押してください。この場合、指を同時に離すようにします。

リズムのチェンジは、次のリズムのボタンを押すことで前のリズムは自動的にキャンセルされます。

各リズム間のテンポ(4分音符を基準)は一致していますから、曲の途中から違ったりズムで演奏することも、より曲の表現を多彩にします。

##### ●スタートスイッチ

あらかじめ、リズムを2小節か4小節鳴らしてから曲をスタートする場合には、スタートスイッチを使います。スイッチをONにすると、リズムが第1拍目からスタートします。スイッチをOFFにすれば、リズムは止まります。

##### ●シンクロスタートスイッチ

曲とリズムを同時にスタートさせたい場合は、シンクロスタートスイッチを使います。スイッチをONにしておくと、下鍵盤またはペダル鍵盤と連動して、鍵盤を軽くタッチしただけで同時にリズムが第1拍目からスタートします。

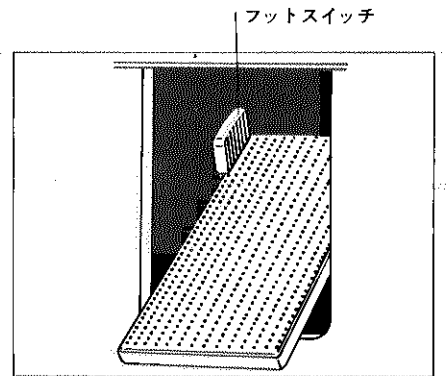
この場合、上鍵盤は連動していませんから上鍵盤だけでイントロダクショ

ン(前奏)を弾いておいて、曲の頭からリズムと同時にスタートすることができます。

ストップは、シンクロスタートスイッチをOFFにしてください。

なお、スタートスイッチとシンクロスタートスイッチはどちらかに限定してお使いください。スタートスイッチで始めた時は同じスタートスイッチで止め、シンクロスタートスイッチで始めた時はそのスイッチで止めるような習慣をつけてください。ただし、フットスイッチをお使いになる場合はこの限りではありません。

##### ●フットスイッチ



スタートスイッチ、またはシンクロスタートスイッチで曲を弾き始め、曲の途中で短いブレイク(リズムをいったん止めること)をする場合、または最後にリズムと曲を同時にストップさせたい場合にフットスイッチを使います。

フットスイッチは、エクスプレッションペダルの左側の奥についている長

方形のゴムスイッチです。これを右足のつま先で左側に押せばかかります。再びスタートするときは、もう一度押し直します。

ただし、曲の最後にフットスイッチを使ってリズムを止めた場合は、スタートの時に使ったスイッチはONの状態にある筈ですから、必ず一旦OFFの状態に戻しておくように心掛けてください。

●テンポコントロール

オートリズムのテンポを自由にコントロールすることができます。シンクログスタートスイッチを使う場合は、スイッチをONにしておくと音を出さない状態で、テンポインジケータランプによりテンポを目で確認することができます。4分音符の単位で点滅しますが、スタートすると各小節の頭で点滅するように変わってきます。

●オートリズムボリューム

オートリズムの音量と他のマニュアル鍵盤のバランスをとります。適度の音量を工夫してみてください。一度オートリズムボリュームでセットされた音量は、エクスプレッションペダルによってマニュアル鍵盤と同じように変化します。

●バランス調整

バランス調整は、バスドラムなどの低い音とシンバルなどの高い音との音量のバランスを、使う人の好みに調整していただくためと、同じリズムでも曲によってそれぞれ違った感じで使っていただくためにあります。

ツマミを右にまわすとバスドラムなどの低い音が弱くなり、シンバル系統の高い音が強くなります。左にまわすとバスドラム、ボンゴ、コンガなどの太鼓の音が強くなりシンバル系統の音量が下がります。一般的には、ツマミを右にまわした方が軽快な感じになります。

個々のリズムのバランスのとり方については、後述の「演奏はこうして」の項をご参照ください。

オートリズムの演奏はこうして

<p>マ ー チ MARCH</p>	<p>2拍子のリズムです。マーチ・ポルカにはもちろん、4拍子の曲でも「聖者の行進」などのオルタネーティング・ベースを使う場には最適です。</p> <p>2拍目のスネアドラムの音が気になるようでしたら、バランスつまみを右にまわすと軽快な感じになります。</p>
<p>ワ ル ツ WALTZ</p>	<p>3/4拍子です。左手の伴奏と同じパターンになりますからリズムが伴奏とズレないように注意しましょう。テンポを速く、軽い感じで弾くときは、バランスを右にまわして好みのバランスを作ってください。</p>
<p>ス イ ン グ SWING</p>	<p>3/4拍子系統の曲には、テンポの速い遅いを問わず使うことができます。これにマーチを混ぜますと、バスドラムが4分音符で1拍ずつ鳴りますから、曲の途中から盛り上げるために使うと効果がでます。</p>
<p>スロ ー ロ ッ ク SLOW ROCK</p>	<p>いわゆる「ロック・バラード」といわれるリズムです。イタリアのカンツォーネとか日本のポピュラーソングなどにこのリズムが多く使われています。ワルツのリズムを混ぜると、アクセントができていっそう華やかになります。</p>
<p>ジャズロック JAZZ ROCK</p>	<p>ジャズロックの基本パターンです。バスドラムの音量が邪魔になるようでしたら、バランス調節をしてください。スイングやマーチを混ぜると、ジャズロックのバリエーションとして効果的に利用できます。またルンバ・ボサノバ・サンバを混ぜると各々チャチャ・マンボに似たリズムができ、ワルツを混ぜるとアメリカッチに似たリズムができ「蜜の味」などの曲が生きてきます。ただし、ワルツを混ぜた場合はテンポが少し速くなりますから注意してください。</p>
<p>ボ サ ノ バ BOSSA NOVA</p>	<p>ボサノバの場合もバランスの調節で、ボサロック的な感じと、太鼓の音を絞ったクールな感じとを使い分けてみましょう。また、サンバやジャズロックなどラテン系のリズムを混ぜた感じも試してみてください。</p>
<p>ル ン バ RHUMBA</p>	<p>ラテンリズムで一番ポピュラーなルンバのリズムです。バランスを右に一杯まわすと、シンバルの音がビギンのリズムを刻みます。左に一杯まわすとボンゴなどの音が大きくなって、よりルンバラしい感じが出ます。サンバ・ボサノバ・ジャズロックなどと混ぜてもおもしろい味がでます。</p>
<p>サ ン バ SAMBA</p>	<p>サンバはボサノバのもとになったリズムです。ですから、ボサノバの曲をスローのサンバで弾いてみるとまた違ったフィーリングになります。本来のサンバのリズムは速いテンポで演奏する機会が多いので、テンポをじっくり確認して楽しく、おおらかに弾きましょう。</p>



# 伴奏リズムの自動化によって演奏が更に楽しくなりました

伴奏リズムの自動化によって演奏が更に楽しくなりました

## ●オート・ベース/コードとは

オート・ベース/コードとは、エレクトーン演奏の左手、左足の伴奏リズムを自動化し誰でも簡単に楽しめるようにした機能です。

エレクトーン CSY-1 型では、このオート・ベース/コードによって上鍵盤のメロディに対応した和音を下鍵盤で押えたままにしておくだけで、下・ペダル鍵盤両方を弾いているのと同じ効果が得られます。

従って、初心者の方でも、右手のメロディと簡単な和音奏によって容易に演奏が楽しめます。

なお、このオート・ベース/コードは、オートリズムと連動していますのでオートリズムがOFFの状態では作動しませんからご注意ください。但しオートリズムのスイッチはONのまま、オートリズムボリュームを0にすればオートリズム音だけを消すことができます。勿論、オート・ベース/コードレバーをOFFにしておけば普通のエレクトーンとして使うことができます。

一見難しそうな操作も馴れてしまえば簡単です。いきいきと迫力ある自動伴奏に合わせておもいきり演奏してみましょう。もう、すでに演奏できる方は、より演奏の巾を広げる意味で、あなただけの新しい使い方を考えてみてください。

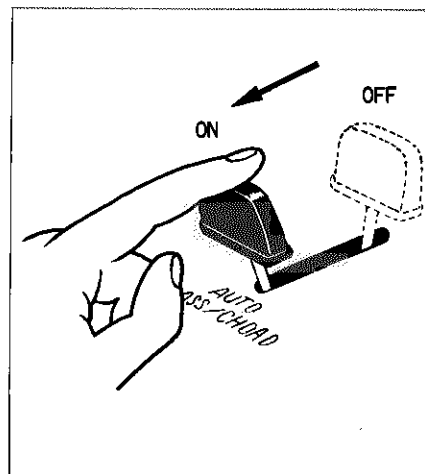
演奏する前にこれだけは覚えておきましょう。

## ●オート・ベース/コード各部の名称と使い方

### ●オート・ベース/コードレバー

オート・ベース/コードを使って演奏する時に、このレバーを手前に引いてONにします。

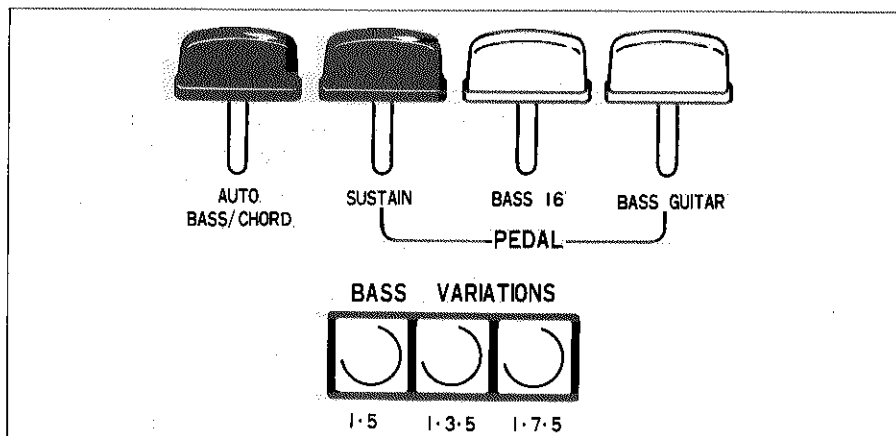
OFFにしておけば普通のエレクトーンとして使うことができます。



### ●ベースバリエーションセレクターズ

演奏する曲に合ったベースパターンをこのボタンの中から選択し、あらかじめセットしておきます。

3種類のベースバリエーションはリズムの種類によってある程度限定されます。リズムに合ったベースパターンを選びましょう。リズムとベースパターンは次のような関係になっています。





### ジャズ・ロック

1度の音だけで構成されています。

### マーチ・スイング・ワルツ・ボサノバ

1度と5度の音で構成されています。

### スロー・ロック・ルンバ・サンバ

3つのパターン **1・5** **1・3・5**

**1・7・5** の選択ができます。

3つのボタンは次のように分類されています。

**1・5**

押えたコードの1度と5度の音が抽出されます。

**1・3・5**

押えたコードの1度と3度と5度の音が抽出されます。

**1・7・5**

押えたコードの1度と5度と7度の音が抽出されます。

※但し、1・5・7のときにセブンスコードを押えない場合は1・3・5のパターンとなります。

※セブンスコードでは、しばしば第5音を省略することがありますが、その時でも、1・5・7のパターンとなります。

### ペダルサステイン

オート・ベース/コードを使った場合もベースの減衰音の長さはこのレバーで調整できます。

但し、ベースギターは減衰時間があらかじめセットされていますので、このレバーでは調節できません。

### オート・ベース/コードの音程

オート・ベース/コードの下鍵盤伴奏音及びベース音は、下鍵盤を押すコードによって決定されます。

### オート・ベース/コードの音色及び音量

オート・ベース/コードの音色は、下・ペダル鍵盤にセットされたトーンレバーによって決定されます。

また、オートリズム音が邪魔なときは、オートリズムボリュームを0にす

れば下鍵盤とペダル鍵盤の伴奏だけとなります。

### コードの種類

使えるコードは全ての音を根音とした、メジャーコード、マイナーコード、セブンスコードです。

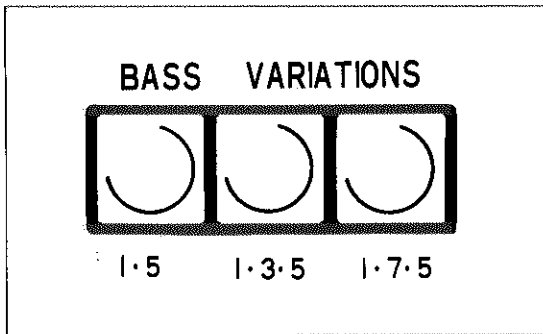
従って、この種類以外の和音を押しても正確な伴奏ははたきません。

### テンポ及びスタート・スイッチ

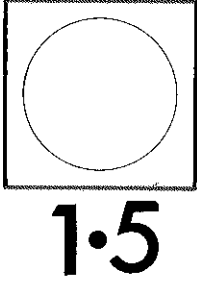
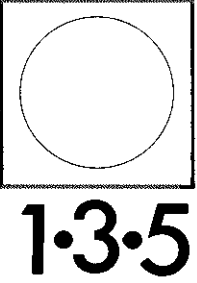
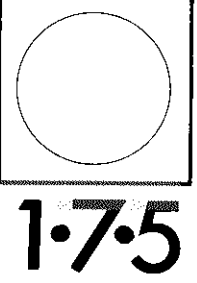
オート・ベース/コードのテンポはオートリズムのテンポコントロールによって決定されます。

また、下鍵盤を押せばスタートし、離せばストップします。

※但し、オートリズムの《シンクロススタートスイッチ》が入っている時は、下鍵盤を離すとリズムもストップ。《スタートスイッチ》の場合はリズムだけがそのまま鳴りつづけます。



●オートベース・コード早見表

ベース・バリエーションセレクターズ	セレクトされる音	リズム・パターン&コードの種類
	<p>押えたコードの1度と5度の音が抽出されます。</p>	<p>ジャズ・ロック●JAZZ ROCK            (但しジャズ・ロックのみ1度だけ)            マーチ●MARCH            スwing●SWING            ワルツ●WALTZ            ボサノバ●BOSSA NOVA            スローロック●SLOW ROCK            ルンバ●RHUMBA            サンバ●SAMBA            使えるコードは全ての音を根音とした            メジャーコード            マイナーコード            セブンスコード</p>
	<p>押えたコードの1度と3度と5度の音が抽出されます。</p>	<p>スローロック●SLOW ROCK            ルンバ●RHUMBA            サンバ●SAMBA            使えるコードは全ての音を根音とした            メジャーコード            マイナーコード            セブンスコード</p>
	<p>押えたコードの1度と5度と7度の音が抽出されます。</p> <p>※但し、このようにセットしてもセブンスコードが押さえられない場合は、1・3・5度の音もできます。</p> <p>※セブンスコードではしばしば第5音を省略することがありますが、その時でも1・5・7度の音がでます。</p>	<p>スローロック●SLOW ROCK            ルンバ●RHUMBA            サンバ●SAMBA            使えるコードは全ての音を根音とした            メジャーコード            マイナーコード            セブンスコード</p>

●オートベース コードのベース及び  
下鍵盤の伴奏を譜で表わすと次のよ  
うになります。

下鍵盤パターン

MARCH 1-5

ベースパターン

SWING 1-5

WALZ 1-5

SLOWROCK 1-3

JAZZROCK 1度のみ

BOSSANOWA 1-5

RHUNBA 1-3-3

SAMBA 1-2-5

●さあ、演奏してみましょう。《演奏はこうして》

1	オート・ベース/コードレバーを手前に引きます。
2	上鍵盤・下鍵盤・ペダル鍵盤の各トーンレバーをセットします。 (特に下鍵盤・ペダル鍵盤のトーンレバーを入れないとオート・ベース/コードは作動しませんからご注意ください)
3	オートリズムセクターズの中から好みのリズムを選んでセットします。
4	リズムのボリューム、テンポを調節します。
5	ベースバリエーションボタンの中からベースパターンをセットします。
6	リズムを先行させたい場合、スタートスイッチを入れれば先にリズムだけがスタートします。次に下鍵盤を押えた瞬間、オートベース/コードが作動します。途中で左手のコードを離してもリズムはそのままで、オート・ベース/コードだけがストップします。
7	シンクロ・スタートスイッチを使った場合は、下鍵盤を離すとオート・リズム及びオート・ベース/コードと共にストップします。 再び触れるとオート・リズム及びオート・ベース/コードと共に小節の頭から再スタートします。

●こんな場合は特にご注意ください

<p><b>1</b></p> <p>次の場合、オート・ベース/コードは作動しません。</p>	<b>A</b>	オート・ベース/コードレバーがOFFのとき。
	<b>B</b>	オート・リズムが作動していないとき。
	<b>C</b>	下鍵盤及びペダル鍵盤のトーンレバーがセットされていないとき。
	<b>D</b>	下鍵盤でコードが押えられていないとき。
	*	オート・ベース/コードレバーがONで各トーンレバーがセットされていてもオートリズムがセットされていないときは勿論オート・ベース/コードの音は出ませんし、エレクトーンの下鍵盤及びペダル鍵盤の音も全く出ません。
<p><b>2</b></p> <p>リズムを組み合わせる場合</p>	<p>オート・ベース/コードをお使いになる場合にもリズムの組み合わせは可能です。しかし、下鍵盤、ベース音共に各リズムのパターンが重なって出てきます。</p>	
<p><b>3</b></p> <p>シンクロスタートスイッチでスタートした場合</p>	<p>シンクロスタート・スイッチでスタートした場合、コードチェンジの際、手を離すとリズム及びオート・ベース/コードとも同時にストップします。なるべくその時間を短くするか、うまく指を離さずスライドさせるかして演奏が途中で中断することがないように練習しましょう。</p>	
<p><b>4</b></p> <p>スタートスイッチを使った場合</p>	<p>スタート・スイッチを使った場合は、左手を離してもオートリズムはストップしません。従ってコードチェンジにまごついていますとリズムだけは先に行ってしまう。その際は、オートリズムをよく聞き小節の頭を確認できたところで再スタートしましょう。</p>	
<p><b>5</b></p> <p>オート・ベース/コードを使って演奏しない場合</p>	<p>オート・ベース/コードを使って演奏しない時は、必ずオート・ベース/コードレバーをOFFにしておきましょう。</p>	
<p>***</p>	<p>シンセサイザーの音（ベース鍵盤は、オートベース/コードとは連動しません。但し、オートベース/コードが作動中でもシンセサイザー音は鳴ります。）</p>	

# SECTION 8

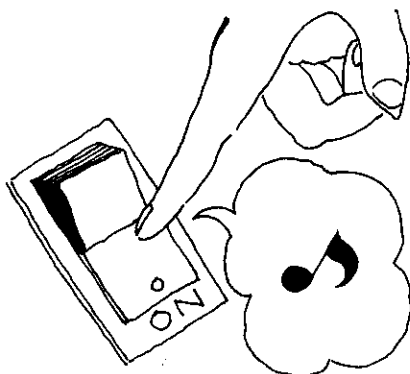
## こんな場合は故障ではありません

下記のような、故障でない現象でサービスを依頼された場合には、保証期間中であっても実費料金をいただきます。

原因不明の場合及びご不審な点がございましたら、お求めの楽器店あるいは日本楽器各支店エレクトーン技術係までご相談ください。

●スイッチを入れた瞬間、ボンと音がする

メインアンプ内部に電気が流れたため、エレクトーンが作動する証拠です。安心してお使いください。



●ヘッドホーンのブーンという電気の雑音(ハム)が気になる

本体のスピーカーで音を出している時には、あまり気になりませんが、ヘッドホーンを使って練習する際、ブーンという電気のうなり雑音(ハム)が気になることがあります。このような時は、エレクトーンの電源プラグをコンセントへ逆に差し込んでみてください。雑音(ハム)が防止できます。



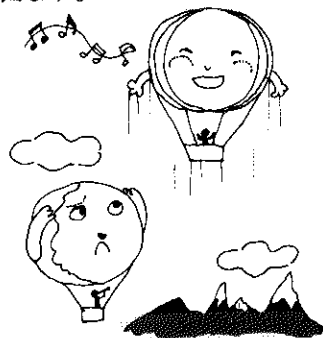
●16、8、4それぞれのカブラーによって発音位置が異なる

実用上支障のない範囲に精密調整してあります。一般に多くの音栓を持つオルガン、パイプオルガン、エレクトーンでは同時発音が難しく、同時発音しないのが実状です。

●ペダル鍵盤は同時に2音を押しても1音しか出ない

ペダルサステインをかけた時に、前の音と後の音が混ざり、きたない音になります。

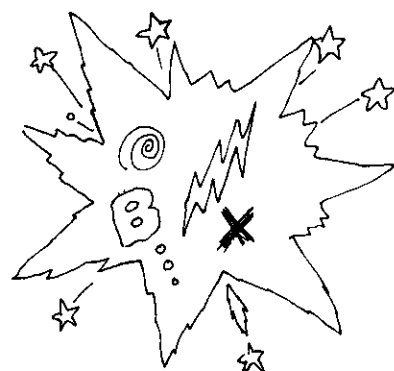
これを澄んだきれいな音とするため、前の音が鍵盤を押した瞬間に消えるようなしくみになっております。同時に2音押すと高音の方のみ(高音優先)音が出ます。



●音が割れる(共鳴する、またはビビル)

エレクトーンの音は持続音ですから周囲の戸棚、窓ガラスその他の器物に共鳴することが多くあります。

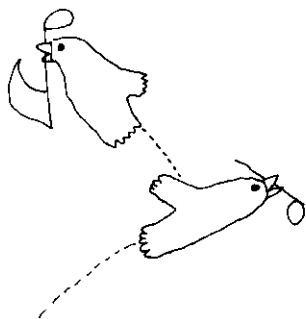
音量を小さくするかまたは共鳴物を取り除けば防止できます。



●時々雑音が入る(ガリッとかポツンという雑音)

原因は家庭の電気冷蔵庫、洗濯機、電気コタツ、揚水ポンプなどの電気器具の電源入、切り時、あるいは市街地でのネオンサインの故障や電気ドリル等から誘導して起こる場合が多くあります。

電気製品が原因の場合は、原因と思われる機器からできるだけ遠くのコンセントをお使いください。気にならないければ別にエレクトーンには支障がありませんのでそのままお使いください。またネオン、蛍光灯などの故障で発生している場合は修理すればすぐ直ります。



●ペダル鍵盤ではピッチが高く上鍵盤高音部では低く感じる

エレクトーンは実音で調律してあるからです。特にピアノと比較した場合に感じますが、心配ありません。

●トーンレバーによって鍵盤位置による音量のバラツキが

一般に電子楽器では、音色を変えるという本質的な要素を持つため、音色による各鍵盤の音量バラツキをなくすることが非常に難しいわけです。エレクトーンではどの音色に変えても演奏上問題のないように設計、調整されています。

しかし、音の強さや音色は、エレクトーンの設置場所の状態や聞く位置などによって大きく異なることがあります。

●ラジオやテレビ等の電波が入るときがある

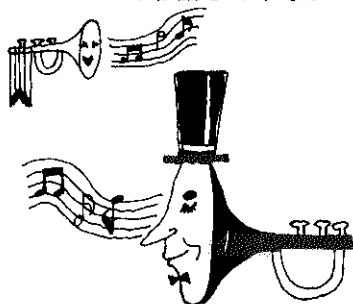
近くに大電力の放送局やアマチュア

の無線局がある場合にこのようなことが起きます。

●電源を入れたまま振動やショックを与えると雑音が出る

これは内蔵のリバースレション装置に振動が伝わって起こるものです。このリバースレション装置は柔らかいスプリングを使用しておりますので使用中は大きな振動やショックを与えないようにしてください。

またエレクトーン設置にあたってはぐらつかないように設置してください。万一移動する必要がある場合は、電源スイッチを切るか、リバースレバーを左に回して、リバースがかからないようにしてから移動してください。



●上鍵盤16および下鍵盤のトーンレバーを入れて弾くと音が出る時にツツク(ポツツク)という雑音が入る

これは、音の信号を直接鍵盤の下にあるスイッチで入れ切りするときが発生するもので、専門的にはクリックと呼んでおります。

このクリックは弾く曲により、たとえばスローテンポでムーディーな曲では悪者扱いされますが、パンチの効いた速い曲では非常に貴重で、なくてはならない存在となります。本質的にこのクリックをなくすることができませんが、エレクトーンCSY-1型では発音時の不快な雑音をヤマハが開発した特殊スイッチにより、演奏上支障のない程度に防止しております。

●エレクトーンに鼠が入って故障を起こした場合

エレクトーンの内部に鼠が入り束線その他を切ったりすることにより故障

が発生した場合には、保証期間中でもサービス料金を頂戴いたします。

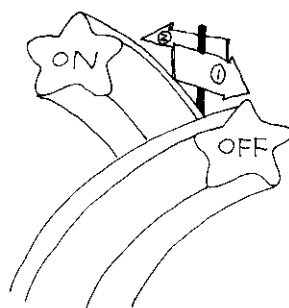
鼠の入るおそれのあるところは、お求めの楽器店あるいは日本楽器各支店エレクトーン技術係までご相談ください。実費にて防鼠処置をさせていただきます。



●リズムスタートスイッチ(シンクロスタート)をONにしてもリズムが

フットスイッチがOFFで曲を終わった場合は必ず、曲の弾き始めに使った《スタートスイッチ》又は《シンクロスタートスイッチ》を一旦OFFに戻してから次の曲に移るようにしてください。

フットスイッチがOFFで曲を終わった場合は、《スタートスイッチ》(シンクロスタートスイッチ)が最初スタートした時のままONになっていても働きません。



●オート・ベース/コードレバーをONにしてもオート・ベースが作動しない

オート・ベース/コードはオート・リズム機構と連動していますから、オート・リズムが作動していないときはオート・ベース/コードも作動しません。また、オート・リズム、オート・ベー

ス/コード共ONのときでも下鍵盤及びペダル鍵盤のトーンレバーがセットされていなければオート・ベース/コードは作動しません。

詳しくはSECTION-7 16頁の「こんな場合は持にご注意ください」の項をご参照ください。

●トレモロまたはコーラスを作動した時に作動音が出る

内部に組み込まれている回転スピーカーが作動して出る回転音ですが回転部分に精密仕上を施し演奏上には支障のない程度の大きさに抑えてあります。



●ヘッドホーンを使うとトレモロ効果がかからない

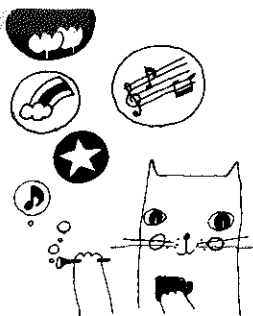
トレモロ効果は、スピーカーを回転させて音をふりまき、独特の雰囲気を作り出します。しかし、ヘッドホーンを使った場合はスピーカーへの信号(楽音)が遮断されてしまうために、トレモロ効果のない音になります。



●トレモロタブレット(トレモロ・コーラス)を入れてもトレモロ効果がかからない

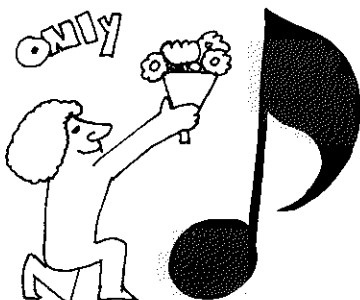
トレモロ・コーラスのタブレットを入ただけでは、トレモロスピーカー

から音が出ないためトレモロ効果はかかりません。必ずボイスタブレットと一緒にに入れてご使用ください。



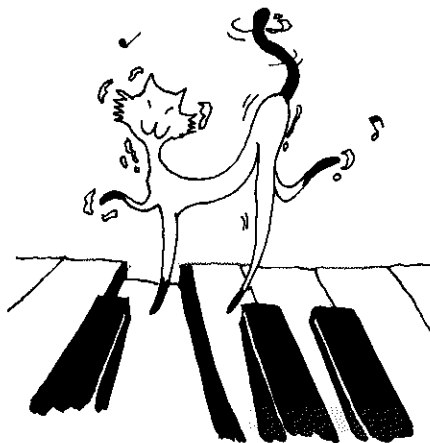
●鍵盤を同時に2音押しても1音しか出ない

シンセサイザー部は、単音ですので同時に2音以上の音を押しても、高音(高音優先)の方しか出ません。



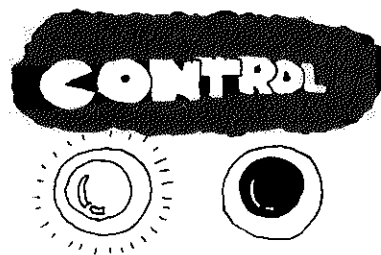
●音色レバーを2つ以上押しても、1音しか出ない

シンセサイザー部の音色は、1音のみ選ぶことができ、コントロールパネルの音色レバースイッチ(TRANSPPOSITIONも含む)は、右側優先のレバースイッチです。



●スライドボリューム(ATTACK/BEND、ENVELOPE/FILTERなど)の効果がかからない

シンセサイザー部のコントロールパネルにありますボリューム類は、同一パネル内の「PRESET/CONTROL」セクターを必ず「CONTROL」側にセットしてから、ボリュームを動かさないと(但し、「TUNE」を除く)、効果はかかりません。



# SECTION 9 やさしい音楽教室

## ●和音のことを少し覚えましょう。

### 1

高さの違った3個以上の音が、同時に響く場合に和音といいます。和音には、にごった響きのするものや、澄んだ響きのするものなどいろいろあります。そのうちで最もよく音楽に使われる基本的なものが三和音です。三和音は3度の音程を2つ積み重ねるとできます。

### 2

例としてハ調長音階上に三和音を構成してみましょう。

C Dm Em F G Am Bdim C

### 3

この中でもCとFとGの和音は、音楽の中で最も多く使われますから、これを主要三和音と呼びます。他の4つは副三和音と呼びます。

### 4

Cの和音でみてみましょう

- ソの音を5度(第5音)と呼びます
- ミの音を3度(第3音)と呼びます
- ドの音を1度(根音)と呼びます

●ドを1度とすればミはドから3つ目ソは5つ目になるわけです

### 5

Dmの和音でも同じです。  
 一番下のレを1度(根音)  
 ファを3度(第3音)  
 ラを5度(第5音)  
 とよびます。以上でおわりのように和音を構成する一番下の音を1度(根音)とよびます。ただし、和音が転回した場合でも、この呼び方はかわりません。  
 エレクトーンではしばしば和音を転回して使いますが、オートベースはいつも第1度(根音)から出発します。

### 6

それではコードネームが表わす意味をまとめてみましょう

- C.....C音を根音として作られた長3和音(メジャーコード)
- Dm.....D音を根音として作られた短3和音(マイナーコード)
- Em.....E音を根音として作られた短3和音(マイナーコード)
- F.....F音を根音として作られた長3和音(メジャーコード)
- G.....G音を根音として作られた長3和音(メジャーコード)
- Am.....A音を根音として作られた短3和音(マイナーコード)
- Bdim.....B音を根音として作られた減3和音(ディミニッシュコード)

### 7

長3和音の音程をみてみましょう

完全5度  
長3度 短3度

明るく安定した響きをもつ和音——メジャーコード

### 8

短3和音の音程をみてみましょう

完全5度  
短3度 長3度

長3和音の明るさにくらべてすこし暗い響きをもつ——マイナーコード

### 9

セブンスコードは3和音の上に3度音程の音をもひとつ加えることができます。次にハ調3和音の上に3度音程を加えセブンスをつくってみましょう。特に5度(ソの音)のセブンスは属七といわれハ長調では大変重要な働きをします。

C M7 D m7 E m7 F M7 G 7 A m7 B m7 C M7



# SECTION 完全な保証とサービスシステム

## 完全な保証とサービスシステム

### ●●保証

エレクトーンのご保証は、保証書によりご購入から満1ヵ年です。

ただし、現金、ローン、月賦などによる区別は一切いたしません。

また保証は日本国内にてのみ有効といたします。

### ●●保証書

エレクトーンの内入れ調整サービスの際、納入調整者が保証書内へ必要事項記入のうえ、お客さまにお渡し申し上げます。

保証書をお受取りの時は、お客さまのご住所、お名前、お買上げ月日、販売店名などを必ずご確認ください。

無記名の場合は無効になりますのでくれぐれもご注意ください。

### ●●保証書は大切にしましょう。

保証書は弊社がエレクトーンをご購入いただいたお客さまに、ご購入の日から向う1ヵ年間の無償サービスをお約束申し上げるものですが、万一紛失なさいますと保証期間中であっても実費を頂戴させていただくこととなります。

万一の場合に備えて、いつでもご提示いただけますように充分ご配慮の上で保管してください。

また、保証期間が切れましてもお捨てにならないでください。後々のサー

ビスに際しての機種判別やサービス依頼店の確認など便利にご利用いただけます。

### ●●納入調整サービス

エレクトーンをお納めさせると、販売店からエレクトーンのご説明かたがたお納めしたエレクトーンの調子を最良状態にするよう点検調整にお伺い致します。お求めのエレクトーンについてご不明の点およびお聞きになりたい点がございましたらその節にお願い申し上げます。

### ●●アフターサービス

1：保証期間中に万一故障が発生した場合にはヤマハ特約楽器店、小売楽器店にご連絡いただきますと販売店またはヤマハのエレクトーン技術者が直ちに調整修理にお伺いします。

2：調整いたしました時には、必ず保証書をご提示ください。ご提示なき場合、あるいは紛失なされた場合には保証期間中でも有料となります。

3：この保証書は、サービスにお伺いした時に今後の製品改良の貴重な資料とするため技術者がお預りさせていただきます。お預りした保証書は、弊社支店に送られ、記録した後に各支店から直接お客さまにご返送申し上げます。この間、約1週間～10日間程度を要しますがご心配なくお待ちくださるようお願い申し上げます。

4：お買上げ楽器店より遠方に移転される場合は、事前にお買上げ楽器店あるいは弊社支店にご連絡ください。移転先におけるサービス担当者をご紹介申し上げますと同時に、引続き保証期間中のサービスを責任をもって行なうよう手続きいたします。

### ●●保証期間後のサービス

満1ヶ年の保証期間が切れますとサービスは有料となりますが、いつまでも責任をもってサービスをさせていただきます。保証期間以後の移転の場合も保証期間中と同様にご連絡いただきましたら、移転先の楽器店をご紹介いたします。

ヤマハエレクトーン 保証書 MODEL CSY-1

この保証書は、ヤマハエレクトーンをお買上げ頂戴するに際して発行されるもので、ご購入の日から向う1ヵ年間の無償サービスをお約束申し上げます。また、万一故障が発生した場合には、弊社特約楽器店、小売楽器店にご連絡いただきますと、販売店またはヤマハのエレクトーン技術者が直ちに調整修理にお伺いいたします。

お買上げ日 昭和 年 月 日

保証期間 1 年 間

〔保証書のご使用方法〕

1. この保証書は、ご購入の日から向う1ヵ年間の無償サービスをお約束申し上げます。また、万一故障が発生した場合には、弊社特約楽器店、小売楽器店にご連絡いただきますと、販売店またはヤマハのエレクトーン技術者が直ちに調整修理にお伺いいたします。

2. この保証書は、ご購入の日から向う1ヵ年間の無償サービスをお約束申し上げます。また、万一故障が発生した場合には、弊社特約楽器店、小売楽器店にご連絡いただきますと、販売店またはヤマハのエレクトーン技術者が直ちに調整修理にお伺いいたします。

3. この保証書は、ご購入の日から向う1ヵ年間の無償サービスをお約束申し上げます。また、万一故障が発生した場合には、弊社特約楽器店、小売楽器店にご連絡いただきますと、販売店またはヤマハのエレクトーン技術者が直ちに調整修理にお伺いいたします。

4. この保証書は、ご購入の日から向う1ヵ年間の無償サービスをお約束申し上げます。また、万一故障が発生した場合には、弊社特約楽器店、小売楽器店にご連絡いただきますと、販売店またはヤマハのエレクトーン技術者が直ちに調整修理にお伺いいたします。

日本楽器製造株式会社

こんなサービスの依頼をなさるとお得です。

人間がお医者さんにかかるのと同じように、時にはエレクトーンもエレクトーンのお医者さんにご厄介になることがあります。

特にツユ時と、ツユ明けの頃が病気にかかりやすく、エレクトーンにとっては一番いやな季節です。これはちょうど我々人間にとっても、この季節がいちばん病気にかかりやすいのによく似ています。

でもご安心ください。万一そんな時にはエレクトーンがどんなに重い病状でも、ヤマハが揃えた専門のお医者さんが直ちに診察し、元通りに、そして再び美しい音楽を奏できるようにしてさしあげます。

こんな時など誰れでも心細い思いをするものですが、安心してサービスを依頼し、早く、しかも確実に診察してもらう方法を知っておくと、お得です。

ぜひご一読して、末永くエレクトーン健康管理にお役立てください。

#### ●サービスをご依頼なさる前に

毎日使用していた電気器具が、ある日突然動かなくなり、あわててサービス技術者に来てもらったところ、電源コンセントから電源コードが外れていたなどという笑い話のような本当のななしは少なくありません。

サービス技術者をお呼びになる前には、もう一度しっかり確認をしましょう。

1：必ずコンセントに電気が来ているかどうか、電気製品を接続してお確かめください。

2：この手引書の18頁にごございます「こんな場合は故障ではありません」の項をもう一度ご覧ください。

3：ご依頼いただきましたサービスにお伺いした際、故障でないような場合でも、点検代と出張経費を頂戴させていただきます。

#### ●お名前・お住まいはハッキリと

1：サービスをご依頼くださる時、お

名前、お住まいをハッキリとお知らせください。

特に、アパートおよび他の方と同居なさっていらっしゃる方などは、アパートの名前や〇〇方などの方書きまで詳しくお教えください。また、お訪ねする際の日標物もあわせてお知らせ願います。技術者ができるだけ早くお伺いするために大切です。

2：サービスをご依頼くださる時、お店からお客さまにご連絡をさしあげることをごさいますので、“連絡方法”もお知らせください。

例えば電話番号(呼出含む)、お勤め先の電話番号などです。これはエレクトーンの様子について、いま少しお聞きしたい時や、万一突発事故によりお約束の変更をしなければならない時など、お客さまにご迷惑をおかけしないですみます。

#### ●エレクトーンの様子は詳しく

1：サービスをご依頼くださる時、エレクトーンの様子をできるだけ詳しくお知らせください。できれば、実際にエレクトーンをお弾きになっていらっしゃる方にお聞かせ願えれば、あらかじめ用意する部品などの見当が付き、部品などの為に再度訪問するなどのご迷惑をおかけすることがなくなります。

2：時々調子のおかしくなるような場合には、お手数でもその状態をできるだけ詳しくお知らせください。

例えば①夜だけ音が小さい。②ある時間だけ雑音が出る。③エレクトーンの音を出さなくても、スイッチを入れるだけで雑音ができる。④スイッチを入れて10分位、下の音程が狂う。などお知らせいただければ、技術者がお伺いしたときに正常で調整不能な場合や誤診をすることもなく、早く確実にサービスが出来ます。

3：エレクトーンの種類、製造番号など、サービスご依頼のエレクトーンに関する詳細は保証書をご覧になりながらお知らせください。

例えば、エレクトーンの種類名、製造番号、保証期間などです。使用部品

が製造時期や機種により異なる事もありますので、お手持のエレクトーンについて詳細をお聞かせいただくと早く確実にサービスさせていただきます。

#### ●サービスのお約束について

1：お仕事の関係で、昼間ご不在のお客さまや留守勝ちのお客さまは、できるだけお伺いする日時を事前にお約束させていただきますたく存じます。

2：万一、お約束した日時がご都合の悪い時には、できるだけ早くサービスをご依頼されたお店にご連絡ください。出張料の二重負担が防止できます。

3：お店にサービス依頼をされたにもかかわらず、日時が経過してもなおサービス員がお伺いしない場合は、お手数でも最寄りの下記にご連絡ください。責任をもって処理させていただきます。

#### ●ヤマハのサービス網

■東京支店 東京都中央区銀座7-9-18パールビル内・技術課エレクトーン技術係 ☎(03) 572-4291

■大阪支店 大阪府吹田市新芦屋下1-16・技術課エレクトーン技術係 ☎(06) 877-5151

■名古屋支店 名古屋市中区錦1丁目18-28・技術課エレクトーン技術係 ☎(052) 201-5141

■九州支店 福岡市博多区博多駅前2-11-4・技術課エレクトーン技術係 ☎(092) 431-2151

■北海道支店 札幌市中央区南三条西4-12 エイトビル内・技術課エレクトーン技術係 ☎(011) 281-6111

■仙台支店 仙台市1番町2-6-5 太陽生命ビル・技術課エレクトーン技術係 ☎(0222) 27-8511

■広島支店 広島市紙屋町1-1-18 技術課エレクトーン技術係 ☎0822(48) 4511

■浜松支店 浜松市鍛冶町122 技術課エレクトーン技術係 ☎(0534) 54-4111

■本社 浜松市中沢町10番1号 サービス課エレクトーン技術係 ☎(0534) 61-1111

# SECTION 7

## 美しい音色は入念なお手入れから

一般的に他の楽器、たとえばピアノとかオルガンと同じ取り扱いをしていただければ問題はありませんが、特に電気部品を使用していますから次の点にご注意ください。

### ●設置場所

1. 日光の直射する所に置きますと色があせたり、木材の接着部分がはがれる恐れがありますからなるべく避けてください。
2. その他、湿気の多い所、暖房装置の近くは避けてください。

### ●取り扱い方

1. オールトランジスタ使用のため放熱はありませんが、使用後は電源スイッチを必ず切ってください。
2. 鍵盤蓋の開閉は、そのまま蓋の取手に手を添えて出し入れしてください。蓋を上を持ち上げたり蓋の上に重い物を乗せないでください。

※エレクトーンのスィッチを入れたままで、ラジオを近づけますとラジオから雑音が聞こえたり、放送が良く聞きとれない時があります。これはエレクトーンが発振音がラジオに入るためですのでエレクトーンのスィッチを切るか、若しくはエレクトーンから約1m位離してラジオをご使用下さい。

### ●お手入れ

1. このエレクトーンの外装に使用している塗剤は、ビニールと化学反応を起し塗装面を傷つけることがありますので、ビニール製カバーなどはご使用にならないでください。
2. 鍵盤のお手入れは、中性洗剤を水で薄め柔らかな布に浸しよく絞ったものできれいに拭き取ってください。アルコールやシンナー、ベンジンなどの薬品を使いますと鍵盤の表面が浸されて見苦しくなりますので絶対にご使用にならないでください。
3. 棚板右下にあります電源コンセントにはカセットデッキ以外の電気製品のご使用はなさないでください。

# SECTION 2

## エレクトーンはまわりのことを考えて

まわりの迷惑にならないような音量でエレクトーンを弾くように心掛けましょう。

ご近所迷惑にならないように、エレクトーンの快い響きを楽しみ、心おきなくレッスンに励むためにはどのようにすればよいでしょうか。

最初から演奏を目的としたお部屋を設計することが理想ですが、一般のご家庭ではなかなか難しい問題が多いようです。

そこで最も手近な問題から考えて見ましょう。

A：エレクトーンのコントロール機能を使う……通常の場合には、エレクトーンのトータルボリュームで程よい音量にコントロールし、よく音の響く夜間などでは、ヘッド

ホーンを使用して、絶えず周囲に迷惑のかからないよう心掛けましょう。

B：エレクトーンを壁面から10～15cmの間隙をおいて設置する……これは壁面が共振するのを防ぎます。

C：エレクトーンを遠ざける……エレクトーンをできるだけお隣りから離れた所に置き、弾くときは窓を閉める。音はどんな小さな隙間からも逃げ出します。

D：カーテンを取り付ける……窓には厚手のカーテンを取り付ける。窓の他、入口の扉など隙間のある所に取り付けても効果があります。

E：床にカーペットを敷く……エレクトーンの置いてあります床に厚手のカーペットを敷くことによって音が下へ逃げるのを防ぎます。



## ●エレクトーンをより理解していただくために。

表紙裏面(折返し頁)の全体写真と合わせてご覧ください。

### ④上鍵盤

44鍵 3 $\frac{2}{3}$ オクターブ(F $_2$ ~G $_6$ )

### ④下鍵盤

44鍵 3 $\frac{2}{3}$ オクターブ(F $_1$ ~G $_5$ )

### ●マニュアルキー(手鍵盤)の弾き方

美しくエレクトーンを弾くためには、正しい指使いをしなければなりません。

普通の手形は、一度にぎった手を軽くひろげ指を立てた状態にします。この形は指は早く動かすためにも必要で、あらゆる有線楽器に共通の模範的な形です。

エレクトーンはピアノと違い指を離した瞬間に音が切れてしまいます。ですからレガートを弾くときなどは次に弾く音の上に指を用意する必要があります。

1. 原則として2度は隣の指で
2. 5度以内は5指を有効に
3. 5度以上の順次進行は音階の指使いで
4. 指の拡大はなるべく1-2、1-4、1-5の指の間で
5. 果盤はなるべく長い指で(2・3・4指)

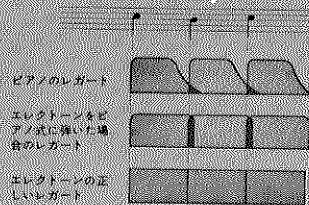
もちろん曲により例外もたくさんありますが、一口に言えば合理的な指使いが必要なのです。

### ●レガートについて

ピアノの場合、キーをたたくとそのキーが下がってきたあたりでハンマーが弦をたたきます。つまり弾く動作よりある程度遅れて音が出ているのです。

ところがエレクトーンではキーをほんの少し押しただけで音が出ます。そしてキーを離す瞬間まで同じ強さの音が続いています。

ですから、エレクトーンをピアノノ式のレガートで弾くと音の前味が重なって汚い音になります。ピアノとは違うタッチで正しいレガートが弾けるように練習してください。



1. スラー(—)のついているフレーズや何も書いてない場合(メロディ・パート)は原則としてレガートに弾きます。
2. 初めから終りまで全部レガートに弾いてはかえってその効果が少なくなります。フレーズの切れ目でちょっとプレス(息つき)が必要です。
3. 鍵盤が軽いからといって軽くキーを押さえるとかえってレガートになりにくいのです。形を正しくしっかりと弾きましょう。
4. 指使いが難しくレガートになりにくい所や早いパッセージ等で指がうまく動かない時は半音上げるか半音下げるか、移調して練習すると効果があります。
5. 重音のレガートはしばしば指変えが必要です。重音のパートをとり出して練習しましょう。
6. 自分ではレガートに弾けているつもりでも実際は音が切れていることがあります。レガートには特に注意しましょう。

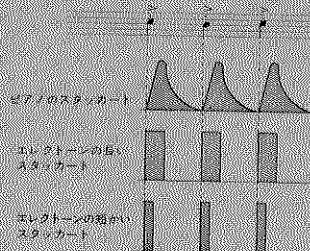
### ●スタッカートについて

スタッカートもまたピアノとは違います。ピアノでは普通キーを打ち逃げるので音は一瞬だけであとは固有の減衰をします。

ところがエレクトーンではキーを押している時間によって音の長さが変えられます。つまり、いろいろな程度のスタッカートが使われるのです。

1. 左手のリズム伴奏の時は特に指定のない場合でもスタッカートで表わします。一般的にリズムカルな感じの曲では短めに、またゆっくりした曲では長めの方が効果があります。

実際にはいろいろな長さで演奏してみてメロディ・パートに合う長さで演奏しましょう。



### ペダル鍵盤

13鍵 1オクターブ(G $_0$ ~G $_1$ )

### ●ペダル鍵盤の奏法

1. 座る位置をいつも同じにしましょう。1オクターブ以上キーがある時に体の中心の音よりも4度Fの音(すなわちC)に座るとC)左足の真下の音となります。しかし、体の大小により多少異なりますが足鍵盤がオクターブですのでCかDの所に体の中心を持ってきますと左足はGかAの所にくるはずですが。
2. ひざから下は、ひざを中心に時計の振り子のようにらくに動くのが上手な弾き方です。
3. 演奏は足首でします。ひざを上下すると足が疲れやすく速いテンポの曲の演奏が困難になります。踏む位置は白鍵の真中より少し奥を踏み足の指のつけ根が白鍵の真中になるようにします。
4. 演奏中足鍵盤を見ますと姿勢がくずれ、ひざを開いてのそき込むと足に不自然な力が入ります。いずれもよくない弾き方です。
5. 練習を始める前のペダル鍵盤だけのリズム練習、音階練習はペダル鍵盤の上達に大変有効です。

### ●ペダル奏法のご注意

1. 座る位置が前過ぎ、ひざが前に出たりその逆になったりしがちです。
2. Gより上の音(A・B・C・)を弾く時にかかどが内に入り、ひざが外側を向くことがよくあ

3. 下のG(G $_0$ )を弾く時に、ひざが内側を向き下脚に不自然な力が入りやすいものです。
4. 短く切る時(スタッカート)は必要以上につま先が上がらないようにしてください。
5. ひざが上下するのは足首に力が入っているためです。もっとも楽な気持ちで弾きましょう。
6. たたきつけるような演奏となる(足全体に力が入る)のもまだ足の動かし方が不自然だからです。
7. 恐る恐る演奏すると、かえって音程がとりにくくなります。
8. 練習時にはペダル鍵盤の音量を少し大きめにしましょう。

### ●エクスペッションペダル

音の強弱、つまり音楽の表情は右足のエクスペッションペダルによってつけます。

クレッシェンドのときは、ごくゆっくり静かに踏みこみます。ディミヌエンドのときは、ゆっくりと戻します。しかし、このペダルはあまり使いすぎてはいけません。エクスペッションは、音楽の自然な流れにそって、わざとらしくない程度につけましょう。

### ●曲全体のエクスペッション

1. 楽曲はいくつかのフレーズが集まって一曲を構成しています。ですから曲全体に「の」フレーズは強めに、pのフレーズは弱めに、つまり全体のバランスを大切にしましょう。
2. 波をうつような不自然な音は右足の操作がスムーズでないことが原因です。聞いていて自然な感じの美しい音楽を創りましょう。

1. 自然な音楽を創るためにフレーズの入りは弱めに、またフレーズの終りも少し弱めにすると美しく聞かれます。
2. フレーズのエクスペッションは急激な操作ではなく少しずつゆっくり操作します。
3. メロディ・パートは歌うよう



## ●エレクトーンをより理解していただくために。

な軽やかな表情をつけます。  
(メロディをよく聞きながら表情をつけます。)

4. クレッシェンドの時は少しずつ操作しやすいのですが、ディミヌエンドの時に早くなりやすいので気をつけましょう。

### ●アクセントについて

1. 急激に踏み込み、そして戻すとアクセントになります。
2. いつもアクセントをつけると全体の感じはアクセントになりません。
3. 戻す音は、楽速く操作します。
4. 初めはアクセントをつけず、フレーズのエクスプレッションが十分身についてから操作するようにしましょう。

### ●エクスプレッションペダルのご注意

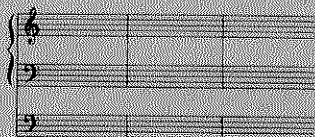
1. クレッシェンドの時、強拍のところが一番強いのが自然です。
2. 曲全体の表情は折めのうちは意識的につけて、なれてきたら無意識に自然な表情がつけられるようにしてください。
3. リズミカルな曲は小さなアクセントがあってもよい感じのものになります。

### 記譜法について

#### ●エレクトーンの記譜法

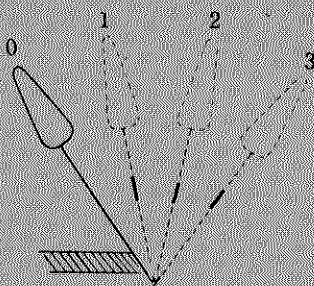
エレクトーンの譜面は普通3段になっています。この場合、特に指定のない限り上段は上鍵盤、中段は下鍵盤、下段はペダル鍵盤でそれぞれ右手、左手、左足で演奏します。

小節線は中段と下段の間には引きません。



### ●トーンレバーの指定

トーンレバーの指定は使用する音色と前に図示したクリックストップの位置(0・1・2・3)を鍵盤別にあらわします。



U.M. FLUTE	16	.....	1
	8	.....	3
	4	.....	2
TROMBONE	16	.....	1
OBOE	8	.....	2
STRING	8	.....	1
L.M. WOOD	8	.....	3
HORN	8	.....	2
CELLO	8	.....	1
PeB. BASS	16	.....	1
BASS GUITAR	.....	.....	1

### ●エフェクトレバーの指定

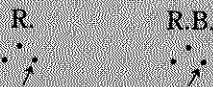
エフェクトレバーにはビブラート(略号Vib)、パーカッション4 (Per 4)、パーカッションプレグス (Per L) ペダルサステイン(P.S.)があります。

以上のレバーは略号を用い、クリックストップの位置(0・1・2・3)で記されます。

ただし、ビブラートは使用されないときでもVib.0と記します。

### ●バランスの指定

リバーブ (略号 R.)  
リバーブバランス (略号 R.B.) は略号と矢印を用いて記入します。



### その他の機能

#### ●ヘッドホンジャック

鍵盤の右手下側に練習のためのヘッドホンジャックがついてい

ます。

これにヘッドホンを接続すれば音は外に出なくなります。夜でもひとり静かに心ゆくまで練習ができます。

#### ●EXT-IN(外部入力)端子

エレクトーンカセットデッキを接続する入出力兼用端子です。その他、テープレコーダー、リズムボックスなどの再生にも使用できます。

入力インピーダンス..... 30KΩ  
入力電圧..... 200mV

#### AUX-IN(ライン入力)端子

レコードやテープの音を出し、これに合わせて競演を楽しむことができます。

入力インピーダンス..... 約100KΩ  
入力電圧..... 440mV

#### AUX-OUT(ライン出力)端子

この端子は、テープレコーダーに録音したり、他のアンプに接続する場合に使用します。

出力インピーダンス..... 約600Ω  
出力電圧..... 500mV

#### EXP-IN(EXP連動入力)端子

リズムボックス、シンセサイザーなどを接続しますと、エレクトーンのEXPペダルで音量変化が得られながら演奏できます。

入力インピーダンス..... 100KΩ  
入力電圧(最大)..... 775mV(0dBm)

#### ●再生及び録音時のご注意

接続して使用するテープレコーダーやプレイヤーなどの種類により、再生音量に差があります。

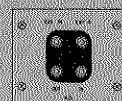
テープやレコードと同時演奏される場合、入力オーバーで音が歪むことがあります。このような時には各々のボリュームを絞り、歪まないようにしてお使いください。

●棚板のACコンセントはエレクトーン用のセットデッキ専用です

棚板右下のヘッドホンジャックの奥にあります。

パワースイッチに連動してON、OFFができる電源コンセントで、エレクトーン用カセットデッキ(別売品)を接続する際に使います。  
\*アイロンや電気コタツ等の電源

コードは絶対に差し込まないでください。(許容電力20W) 万一差し込みますとエレクトーン内部のヒューズが飛び故障の原因となります。



(右側棚板下の図)

### ヒューズ交換のご注意

#### ●ヒューズ交換

通常の場合、ヒューズの切れることはありません。しかし内部の故障や電源の異状ショック、または長い間使用してヒューズが弱ってきた場合などに切れることがあります。

万一切れた場合には、内部メインアンプ部分の手前側板にサービスヒューズが2本用意してありますので取り換えいただくことができます。天屋根を外しますと右側にアンプがあります。

ヒューズを交換してもすぐ切れるようでしたら内部が故障していると考えられますのでアンプの内部には手を触れず、お求めの楽器店にご通知ください。エレクトーン技術者が直接お伺いします。

#### ●ヒューズ交換の際のご注意

メインアンプには2本の普通ヒューズが使われています。これらの容量はそれぞれ2.0A及び1.5Aのガラス管入りヒューズです。

ヒューズの交換には必ず同じ電流容量のものを用いてください。ヒューズを使わず、針金や銅線などの代用は絶対にしないでください。万一使用しますと内部を損傷しますからくれぐれもご注意ください。

交換する時は必ず電源コンセントを抜いて2本のうち、どのヒューズが切れたかを確認して交換してください。



●誰れでも簡単に調律できます。

●エレクトーンの調整法

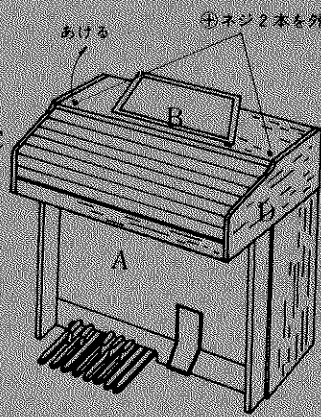
エレクトーンOSY-1は、ピブラートの速さをあらかじめ標準状態に調整してありますが、お弾きになる方の好みに合わせて調整いただけるようになっていました。

また、他の楽器とピッチを合わせる必要が生じた場合など、エレクトーンに技術者でなくても必要に応じて簡単に調律できるよう配慮してあります。

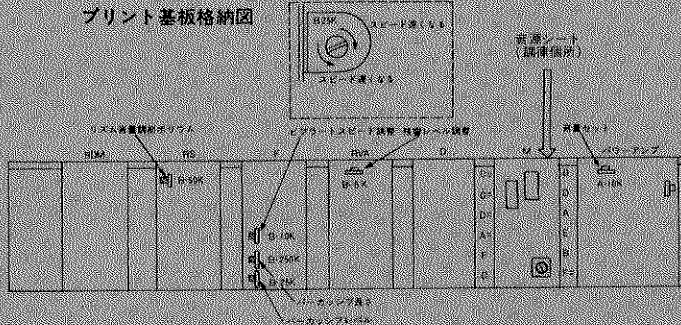
トランジスタ回路になってますから電圧が低く、感電の心配はまったくありません。

●調律および調整箇所は内部に調整のため、エレクトーンを開ける場合は、ドライバーで図示の通り天屋根部分の⊕ネジ2本を外し、スライド蓋を外壁にキズをつけないように静かに取り外せば、心臓部があらわれます。

スライド蓋を持つときは、図のようにA点を持ちC点を持たないでください。



プリント基板格納図



●各部調整方法

各部の調整には、必要以外のところに金属で触れないでください。回路部分が損傷することがあります。

●調律の仕方

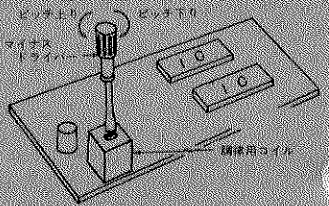
エレクトーンの調律は殆んど必要ありませんが、エレクトーン全体の音を移動させたい時のみ、図のようにMシート内(プリント基板格納図参照)のコイルをドライバー(小型)で調整します。

調律の際には、聞きわけやすい

音色(例えばフルート8)で、中央のA音(440Hz)を押し、音叉などと比較しながらコイルを回してください。

●普通の場合、半回転以内で25Hz程度変化しますので回しすぎないように注意してください。

一つ一つの音が狂っている場合とか、全体が極端に狂っているような場合には手を触れず、お求めの楽器店にご連絡ください。



●ピブラートスピード調整

プリント基板格納図のFシート内にあり、右回転で速くなり、左に回転すると遅くなります。

仕様

鍵盤 上鍵盤 44鍵 F<sub>2</sub>-C<sub>6</sub>  
下鍵盤 44鍵 F<sub>1</sub>-C<sub>5</sub>  
ペダル鍵盤 13鍵 C<sub>1</sub>-C<sub>3</sub>

トーンレバー

上鍵盤 フルート16、トロンボーン16、フルート8、オーボエ8、ストリング8、フルート4  
下鍵盤 ウッド8、ホルン8、チェロ8  
ペダル鍵盤 バス16、ベースギター

エフェクトレバー

全鍵盤 ビブラート  
上鍵盤 パーカッション(4、レングス)  
下、ペダル鍵盤 オートベース/コード  
コントロールレバー及びツマミ  
リバーフバランス、リバーフ  
ペダルサスティン

タブレット

トレモロボイス  
トレモロ トレモロ  
コーラス  
トレモロスピードコントロール(ボリューム)

その他

ベースバリエーション(1・5、1・3・5、1・7・5(スローロック、サンバに効く))  
8オートリズム: ボリューム、バランス、テンポ、テンポランプリズムセレクトスイッチ(マーチ、ワルツ、スイング、ス

ローロック、ジャズロック、ルンバ、ボサノバ、サンバ)  
シンクロススタート、スタート  
パワースイッチ、エクステンションペダル、イヤホンジャック、エクスターナルインプットジャック、エクスターナルインプットジャック、AUX INジャック、AUX OUTジャック、EXP INジャック、AC OUTLET

シンセサイザー部

トーンレバー  
フルート、トロンボーン、トランペット、サキソホン、オーボエ、バイオリン、ピアノ、ハーブシコード、バス、チューバ、ベースギター、ファニー、トラムュートダブル

エフェクトレバー

ATTACK BEND PITCH TONE  
VIBRATO ENVELOPE FILTER

TRANSPOSITION OCT DOWN NORMAL OCT UP 2OCT UP

TOUCH CONTROL VIBRATO DEPTH WAH-WAH VOLUME

KEYBOARD UPPER-PEDAL

ELECTONE CANCEL

SYNTHESIZER ON

エフェクトコントロール

TUNE TOUCH CONTROL SENSITIVITY PORTAMENTO VIBRATO SPEED DEPTH ENVELOPE ATTACK SUSTAIN FILTER CUT OFF FREQUENCY RESONANCE

シンセサイザーボリューム

トランジスター 306本  
FET 9本  
IC 29個  
ダイオード 815本  
モジュール 5個  
メインアンプ 8015W  
スピーカー 3本  
消費電力 120W 50/60Hz  
外觀

本体

仕上 ジアレルフタレート シュミレ  
ーテッド ローズウッド  
アメリカンウォルナット  
開口 1098mm  
奥行 566mm  
高さ 905mm  
鏡面台を立てたとき 1055mm  
重量 63kg



## 日本楽器製造株式会社

本社・工場=〒430-91

浜松市中沢町10-1  
TEL.0534(61)1111

東京支店=〒104 東京都中央区銀座7-9-18/パールビル内  
TEL.03(572)3111

銀座店=〒104 東京都中央区銀座7-9-14  
TEL.03(572)3111

渋谷店=〒150 東京都渋谷区道玄坂2-10-7  
TEL.03(463)4221

池袋店=〒171 東京都豊島区南池袋1-24-2  
TEL.03(981)5271

横浜店=〒220 横浜市西区南幸2-15-13  
TEL.045(311)1201

相鉄店=〒220 横浜市西区南幸1-5-1/相鉄ジョイナス内  
TEL.045(311)6361~4

千葉店=〒280 千葉市中央4-2-1/まつたやビル内  
TEL.0472(24)6111

大阪支店=〒564 吹田市新声屋下1-16  
TEL.06(877)5151

心斎橋店=〒542 大阪市南区心斎橋筋2-39  
TEL.06(211)8331

梅田店=〒530 大阪市北区梅田1/阪神百貨店5階  
TEL.06(345)4731

神戸店=〒650 神戸市生田区元町通り2-188  
TEL.078(321)1191

四国店=〒760 高松市丸亀町8-7  
TEL.0878(51)7777

名古屋支店=〒460 名古屋市中区錦1-18-28  
TEL.052(201)5141

九州支店=〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4  
TEL.092(431)2151

福岡店=〒810 福岡市中央区天神1-11/福岡ビル内  
TEL.092(721)7621

小倉店=〒803 北九州市小倉区魚町1-1-1  
TEL.093(531)4331

北海道支店=〒060 札幌市中央区南三条西4-12/エイトビル内  
TEL.011(281)6111

仙台支店=〒980 仙台市1番町2-6-5/太陽生命ビル内  
TEL.0222(27)8511

広島支店=〒730 広島市紙屋町1-1-18  
TEL.0822(48)4511

浜松支店=〒430 浜松市鍛冶町122  
TEL.0534(54)4111

海外支店=ロスアンゼルス・メキシコ・ハンブルグ・シンガポール・フィリピン

●上記の本社・支店のほかに、全国1400の特約楽器店によるサービス・ネットワーク  
がございます。お気軽にご利用ください。

エレクトーン® (ELECTONE®) は日本楽器製造株式会社の登録商標です。